

江戸川区内中小企業の景況について

2020年7月～9月期



江戸川区生活振興部産業振興課計画係

調査実施機関 一般社団法人東京都信用金庫協会

分析・作成 株式会社サーベイリサーチセンター

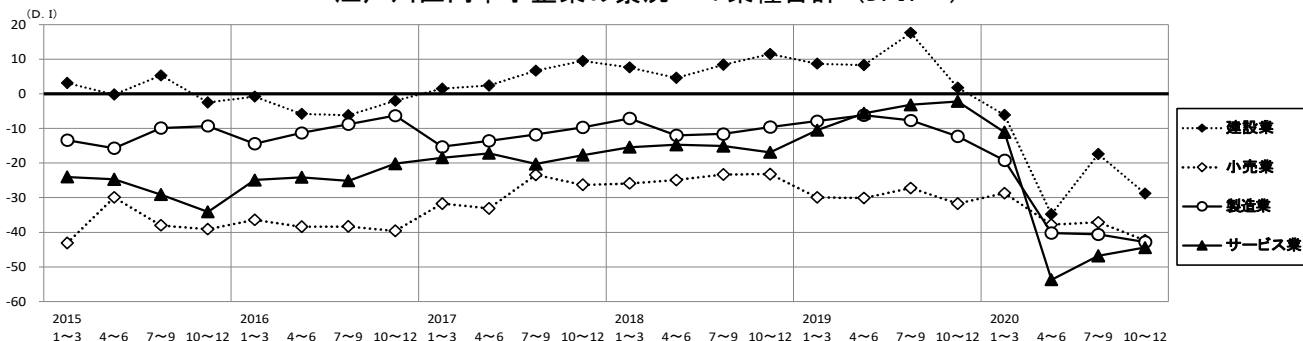
江戸川区内の中小企業の景況（2020年7月～9月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

業況判断DIは前期（-41.1）から3.8ポイント改善するが低迷続く。

～建設業は大きく改善し、サービス業は悪化傾向が弱まり、製造業と小売業は前期同様の厳しさが続く～

江戸川区内中小企業の景況・4業種合計（D.I. ※）



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-37.3（前期は-41.1）と前期に比べ3.8ポイント改善したものの低迷は続いている。業種別に見ると、建設業は厳しさが大幅に和らぎ、サービス業は悪化幅がかなり縮小した。製造業と小売業は前期同様の厳しさが続いた。来期は、サービス業は引き続き上向くが、製造業と小売業は悪化傾向が強まり、建設業は再び厳しさが大きく増すと予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-40.2	-40.6	-0.4	-42.8	-2.2
小売業	-37.8	-37.1	0.7	-42.3	-5.2
サービス業	-53.7	-46.8	6.9	-44.4	2.4
建設業	-34.8	-17.4	17.4	-28.8	-11.4
総合	-41.1	-37.3	3.8	-41.0	-3.7

※前期（2020年4～6月） 来期（2020年10～12月）
※「総合」は上記の4業種でのD.I値

<製造業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額、受注残、収益も前期並の減少・減益幅で推移した。価格面では、販売価格は厳しさが多少増したが、原材料価格はわずかに下降に転じ良好感が出てきた。原材料在庫数量は引き続き適正範囲に保たれた。

業種別に見ると、「一般、金型、電気、輸送、精密機械器具」、「木材・木製品、家具・装備品」、「金属製品、建設用金属製品」は大幅に改善し、「繊維工業、衣服・その他の繊維製品」も厳しいながらもわずかに改善した。「パルプ・紙、印刷、製本業」は前期同様の厳しさが続いた。「プラスチック製品」と「食料品」は悪化傾向が極端に強まった。

来期の業況は悪化傾向が若干強まると見ている。売上額、受注残、収益はともに減少・減益幅がかなり改善するものの、厳しい状況が続くと予想している。

<小売業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は減少傾向が多少改善するものの、収益は減少傾向が幾分強まった。価格面では、販売価格は厳しさがかなり和らいだが、仕入価格は良好感にかげりが見えてきた。

業種別に見ると、「衣服、呉服、身の回り品」は前期同様の厳しさが続き、「飲食料品」は悪化傾向が大幅に強まり、「家具・じゅう器、家電・家庭用機械」は悪化傾向が極端に強まった。

来期の業況は悪化傾向が更に強まると予想している。売上額は多少改善するが、収益は今期並の減益傾向が続くと予想している。

<サービス業>

業況は悪化傾向がかなり弱まったが厳しい状況が続いている。売上額と収益も減少・減益幅が幾分縮小したものの、厳しい状況が続いている。料金・価格面では、料金は下降傾向が大幅に改善したが、材料価格は再び厳しい状況に大きく転じた。

来期の業況、売上額、収益は引き続き上向くが、厳しい状況は続くと予想している。

<建設業>

業況は厳しさがかなり和らいだ。売上額、受注残、施工高、収益も減少・減益傾向がかなり弱まった。価格面では、請負価格は下降傾向をやや強め、材料価格は前期同様の上昇が続いた。

来期の業況は再び厳しさが大きく増すと見ている。売上額、受注残、施工高、収益も再び減少・減益傾向を強めると予想している。

※ D.I. (Diffusion Index) の略

D.I. (ディーアイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

製 造 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、収益

業況（ $\Delta 19.2 \rightarrow \Delta 40.2 \rightarrow \Delta 40.6$ ）は前期同様の厳しさが続いた。

売上額（ $\Delta 17.6 \rightarrow \Delta 42.0 \rightarrow \Delta 41.4$ ）、受注残（ $\Delta 16.4 \rightarrow \Delta 42.1 \rightarrow \Delta 41.4$ ）、収益（ $\Delta 17.9 \rightarrow \Delta 41.0 \rightarrow \Delta 42.5$ ）も前期並の減少・減益幅で推移した。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 42.8$ 予想）は悪化傾向が若干強まると見ている。売上額（ $\Delta 33.5$ 予想）、受注残（ $\Delta 34.2$ 予想）、収益（ $\Delta 34.1$ 予想）はともに減少・減益幅がかなり改善するものの、厳しい状況が続くと予想している。

（２）販売価格、原材料価格、原材料在庫数量

販売価格（ $0.5 \rightarrow \Delta 11.3 \rightarrow \Delta 14.7$ ）は厳しさが多少増したが、原材料価格（ $17.5 \rightarrow 2.1 \rightarrow \Delta 1.3$ ）はわずかに下降に転じ良好感が出てきた。原材料在庫数量（ $\Delta 0.4 \rightarrow \Delta 1.8 \rightarrow \Delta 1.7$ ）は引続き適正範囲に保たれた。

来期の見通しについて、販売価格（ $\Delta 8.3$ 予想）はかなり改善されると見ているが、原材料価格（ 5.2 予想）は再び厳しい状況に転じると予想している。原材料在庫数量（ 1.9 予想）は引続き適正範囲が保たれると予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 8.2 \rightarrow \Delta 31.1 \rightarrow \Delta 25.8$ ）は厳しさがわずかに和らぎ、借入難易度（ $\Delta 3.1 \rightarrow \Delta 3.5 \rightarrow \Delta 3.5$ ）は前期同様の水準で推移した。

設備投資を「実施した」企業（ $16.8\% \rightarrow 9.4\% \rightarrow 10.7\%$ ）は前期から1.3ポイント増加した。

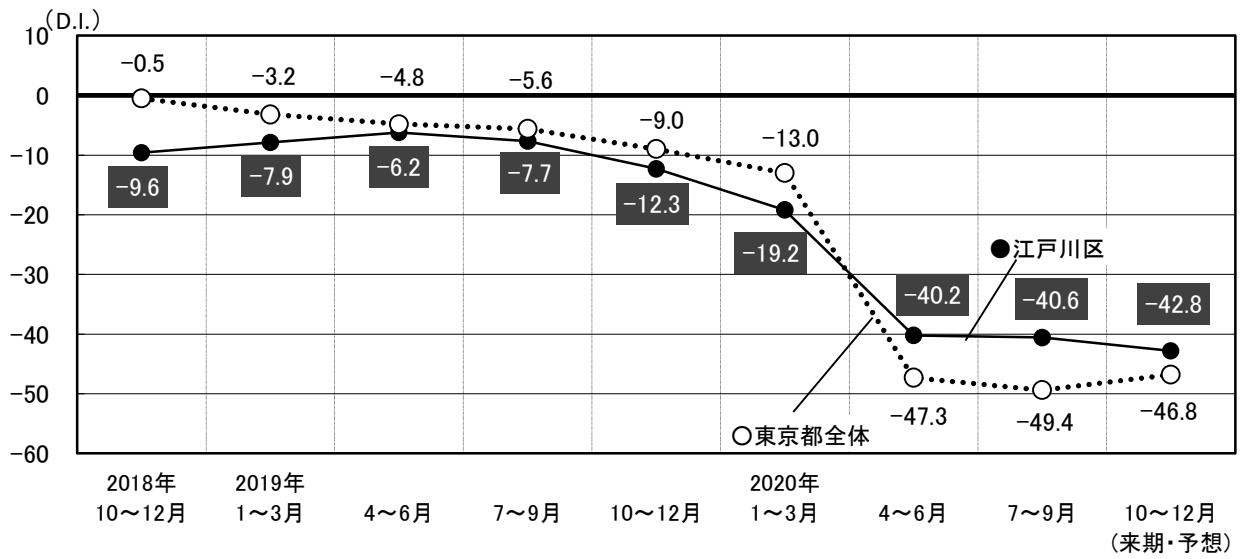
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 18.2$ 予想）は厳しさがかなり和らぐと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（54.9%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（19.1%）、「人手不足」（9.3%）、「利幅の縮小」（8.6%）、「原材料高」、「大手企業との競争の激化」「販売納入先からの値下げ要請」（各8.0%）の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」（51.9%）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」（46.3%）、「情報力を強化する」（14.8%）、「人材を確保する」（9.3%）、「新製品・技術を開発する」（8.6%）の順であった。

【製造業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

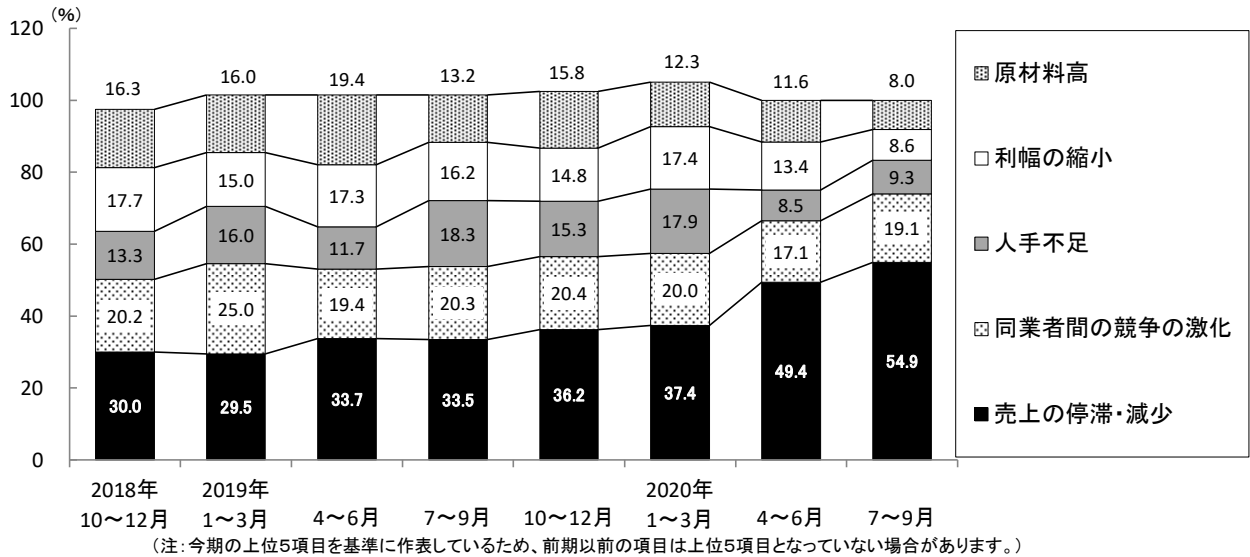


【製造業】 売上額・収益・販売価格・原材料価格の推移



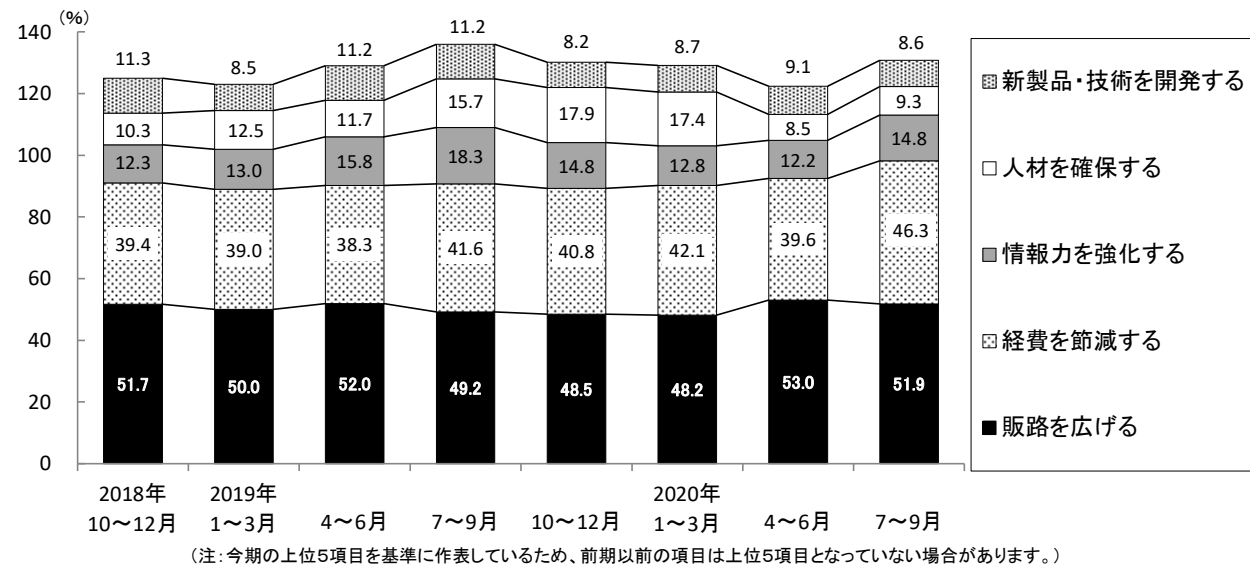
【製造業】 経営上の問題点 (複数回答)

2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期		2020年7～9月期	
売上の停滞・減少	36.2%	売上の停滞・減少	37.4%	売上の停滞・減少	49.4%	売上の停滞・減少	54.9%
同業者間の競争の激化	20.4%	同業者間の競争の激化	20.0%	同業者間の競争の激化	17.1%	同業者間の競争の激化	19.1%
原材料高	15.8%	人手不足	17.9%	利幅の縮小	13.4%	人手不足	9.3%
人手不足	15.3%	利幅の縮小	17.4%	原材料高	11.6%	利幅の縮小	8.6%
利幅の縮小	14.8%	原材料高	12.3%	人手不足 大手企業との競争の激化 工場・機械の狭小・老朽化 販売納入先からの値下げ要請	8.5%	原材料高 大手企業との競争の激化 販売納入先からの値下げ要請	8.0%



【製造業】 重点経営施策 (複数回答)

2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期		2020年7～9月期	
販路を広げる	48.5%	販路を広げる	48.2%	販路を広げる	53.0%	販路を広げる	51.9%
経費を節減する	40.8%	経費を節減する	42.1%	経費を節減する	39.6%	経費を節減する	46.3%
人材を確保する	17.9%	人材を確保する	17.4%	情報力を強化する	12.2%	情報力を強化する	14.8%
情報力を強化する	14.8%	情報力を強化する	12.8%	新製品・技術を開発する	9.1%	人材を確保する	9.3%
新製品・技術を開発する	8.2%	新製品・技術を開発する	8.7%	人材を確保する	8.5%	新製品・技術を開発する	8.6%



製造業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 食料品

業況（△15.7→△33.3→△57.2）は悪化傾向が極端に強まった。売上額（△22.2→△36.3→△63.0）、収益（△11.0→△35.5→△65.5）は減少・減益幅が極端に拡大し、受注残（△22.1→△36.1→△46.7）も減少傾向を大きく強めた。

販売価格（△7.0→1.1→△7.6）は上昇から再び下降に大きく転じて厳しい状況となったが、原材料価格（18.4→19.4→7.5）は上昇が大きく弱まり落ち着きを見せた。

資金繰り（△12.4→△17.5→△34.1）は厳しさが大幅に増したが、借入難易度（△12.5→0.0→0.0）は前期と変わりなく推移した。

来期の見通しは、業況（△55.0 予想）は低迷が続くと見ているが、売上額（△51.3 予想）と収益（△56.5 予想）は大幅に改善し、受注残（△42.4 予想）も若干持ち直す見ている。販売価格（△5.7 予想）は幾分改善するが、原材料価格（10.8 予想）は再び上昇が強まると予想している。

② 一般、金型、電気、輸送、精密機械器具

業況（△10.4→△45.0→△30.5）は悪化幅が大幅に縮小した。売上額（△4.1→△41.2→△26.4）と受注残（0.4→△41.5→△34.3）、収益（△2.8→△41.0→△33.0）、はともに大きく減少・減益幅が縮小した。

販売価格（6.4→△12.7→△10.4）は下降幅がわずかに縮小したが、原材料価格（21.1→△7.6→△2.6）は良好感にかけりが出てきた。

資金繰り（9.0→△37.6→△28.7）は厳しさがかなり和らいだ、借入難易度（7.9→△7.4→△11.1）は窮屈感が幾分強まった。

来期の見通しは、業況（△35.0 予想）は悪化傾向が多少強まると見ている。売上額（△25.8 予想）は前期同様の減少幅で推移するが、受注残（△28.9 予想）はわずかに持ち直し、収益（△23.7 予想）も大幅に改善されると見込まれている。販売価格（△7.3 予想）は下降幅が若干縮小し、原材料価格（△3.2 予想）は今期並の水準で推移すると予想している。

③ 金属製品、建設用金属製品

業況（△22.5→△29.8→△19.6）は大きく改善した。売上額（△23.6→△33.5→△22.8）と収益（△29.9→△34.2→△18.5）は減少・減益幅が大きく縮小し、受注残（△28.2→△42.1→△22.1）も非常に大きく改善した。

販売価格（△1.6→△10.1→△1.9）は大きく改善して下降傾向が一服し、原材料価格（12.9→19.3→13.2）は上昇が大幅に弱まった。

資金繰り（△22.7→△13.5→△16.0）はわずかに厳しさが増したが、借入難易度（△4.2→4.2→3.9）は前期同様の容易な状況が続いた。

来期の見通しは、業況（△31.1 予想）は悪化幅が大きく拡大すると見ている。売上額（△22.3 予想）はほぼ今期同様の水準で推移するが、受注残（△30.1 予想）は大幅に減少を強め、収益（△23.5 予想）もわずかに減少が強まると見ている。販売価格（4.0 予想）は下降から上昇に好転するが、原材料価格（19.2 予想）もさらに上昇し厳しさが強まると予想している。

④ パルプ・紙、印刷、製本業

業況（△27.8→△44.2→△44.1）は前期同様の厳しさが続いた。売上額（△19.2→△48.0→△42.4）は幾分持ち直し、収益（△22.9→△51.5→△41.7）はかなり改善した。受注残（△11.3→△40.8→△40.6）は前期並の減少幅で推移した。

販売価格（1.8→△11.1→△19.6）は下降がさらに強まったが、原材料価格（15.8→4.4→△11.7）は下降に大きく転じ良好な状態となった。

資金繰り（△11.0→△30.3→△18.7）は厳しさが大きく和らいたが、借入難易度（△27.8→0.0→△6.3）は再び苦しい状況となった。

来期の見通しは、業況（△54.1 予想）は悪化傾向がさらに強まると見ている。売上額（△49.9 予想）は減少傾向が大幅に強まり、受注残（△42.7 予想）と収益（△43.7 予想）は減少・減益幅が多少拡大すると見ている。販売価格（△6.2 予想）はかなり持ち直して厳しさが和らぐが、原材料価格（5.6 予想）は再び上昇に転じて厳しい状況になると予想している。

⑤ 木材・木製品、家具・装備品

業況（△29.9→△57.1→△42.8）は厳しい状況ではあるがかなり持ち直した。売上額（△14.8→△55.6→△41.3）と収益（△22.4→△57.3→△40.7）は減少・減益幅が大幅に縮小し、受注残（△10.3→△45.5→△41.6）も多少改善した。

販売価格（△5.5→△11.2→△3.0）は再び持ち直して下降傾向が一服し、原材料価格（25.3→△3.7→△3.1）は前期並の好感が続いた。

資金繰り（△16.5→△51.0→△21.3）は厳しさが極端に和らぎ、借入難易度（△18.2→0.0→0.0）は前期同様に推移した。

来期の見通しは、業況（△35.6 予想）はかなり持ち直すとしており、売上額（△26.4 予想）、受注残（△27.6 予想）、収益（△23.6 予想）も大幅に改善されると見ている。販売価格（△4.6 予想）と原材料価格（△4.9 予想）は今期並同様の水準で推移すると予想している。

⑥ 繊維工業、衣服・その他の繊維製品

業況（△41.8→△63.8→△60.4）は厳しいながらもわずかに改善した。売上額（△44.8→△61.5→△70.3）と収益（△42.8→△39.9→△56.8）は減少・減益幅が大きく拡大したが、受注残（△33.4→△60.7→△55.7）は減少幅が幾分縮小した。

販売価格（△17.0→△26.7→△14.4）は大きく改善し、原材料価格（△5.3→0.1→△9.3）は下降に大きく転じて好感が強まった。

資金繰り（△16.4→△55.6→△49.4）は厳しさがかなり和らいだが、借入難易度（△20.0→△22.2→△37.5）は窮屈感が大幅に強まった。

来期の見通しは、業況（△59.2 予想）は今期同様の厳しさが続くとして見ているが、売上額（△33.4 予想）、受注残（△21.2 予想）、収益（△34.8 予想）はともに極端に改善すると見ている。販売価格（△1.2 予想）は厳しさが大幅に和らぐが、原材料価格（4.9 予想）は再び上昇に転じて厳しい状況になると見ている。

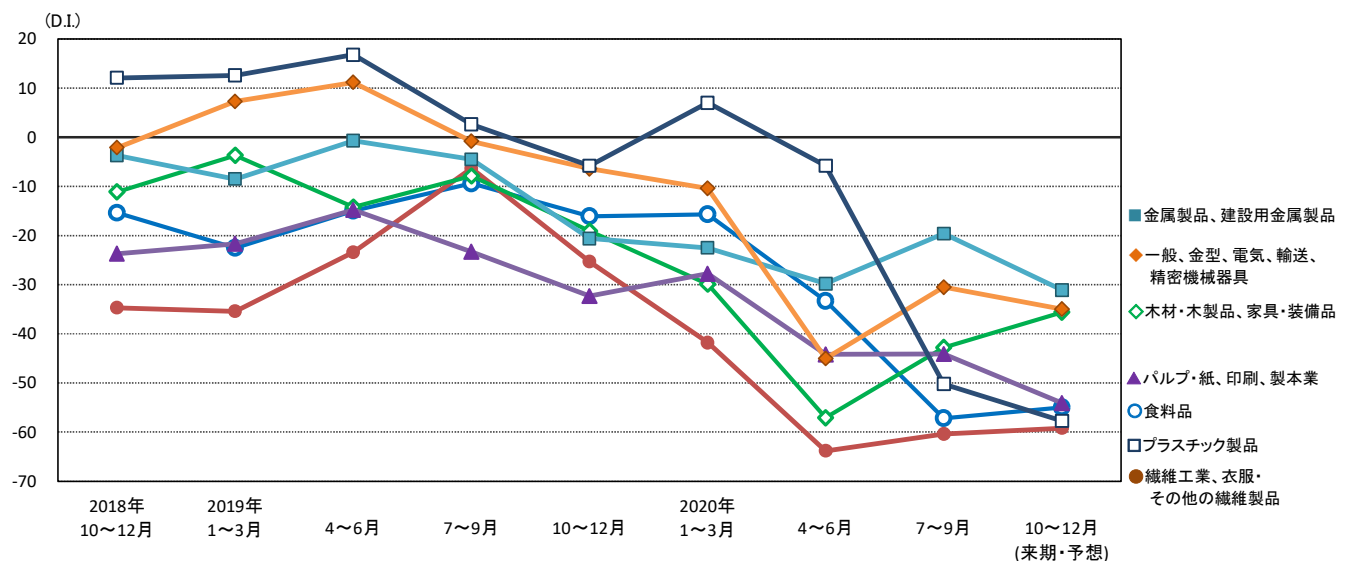
⑦ プラスチック製品

業況（7.0→△5.8→△50.2）は悪化傾向が非常に大きく強まった。売上額（13.9→△14.0→△63.2）、受注残（8.7→△17.9→△63.0）、収益（13.9→△12.8→△64.7）も減少幅が極端に拡大した。

販売価格（15.7→7.5→△38.3）は下降に転じて極端に厳しさを強めたが、原材料価格（21.2→3.9→△22.2）は上昇から下降に転じて好感が非常に強まった。

資金繰り（6.4→△19.3→△36.9）は苦しさが大幅に増したが、借入難易度（26.7→0.0→7.1）は再び容易な状況となった。

来期の見通しは、業況（△57.7 予想）はさらに悪化傾向が強まると見ているが、売上額（△43.9 予想）、受注残（△49.7 予想）、収益（△51.5 予想）は厳しい状況ながら幾分持ち直すは見込まれている。販売価格（△21.4 予想）は大幅に改善するが、原材料価格（5.1 予想）は下降から上昇に極端に転じて厳しさを強めると予想している。



小 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（ $\Delta 28.7 \rightarrow \Delta 37.8 \rightarrow \Delta 37.1$ ）は前期同様の厳しさが続いた。

売上額（ $\Delta 15.9 \rightarrow \Delta 43.6 \rightarrow \Delta 39.9$ ）は多少改善するものの、収益（ $\Delta 19.4 \rightarrow \Delta 36.4 \rightarrow \Delta 40.2$ ）は減少傾向が幾分強まった。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 42.3$ 予想）は悪化傾向が更に強まると予想している。売上額（ $\Delta 36.5$ 予想）は多少改善するが、収益（ $\Delta 39.0$ 予想）は今期並の減益傾向が続くと予想している。

（２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（ $\Delta 0.1 \rightarrow \Delta 14.5 \rightarrow \Delta 6.8$ ）は厳しさがかなり和らいだが、仕入価格（ $10.1 \rightarrow \Delta 10.1 \rightarrow \Delta 4.0$ ）は良好感にかげりが見えてきた。

在庫数量（ $2.1 \rightarrow \Delta 6.4 \rightarrow \Delta 0.3$ ）は品薄感が大きく改善し、適正水準となった。

来期の見通しについて、販売価格（ $\Delta 9.5$ 予想）は更に下降し厳しさがわずかに強まるが、仕入価格（ $\Delta 6.2$ 予想）は再び良好感が強まると見ている。在庫数量（ $\Delta 1.9$ 予想）は引続き適正水準に保たれると予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 12.1 \rightarrow \Delta 28.9 \rightarrow \Delta 18.6$ ）は厳しさが大幅に和らぎ、借入難易度（ $\Delta 15.6 \rightarrow \Delta 10.9 \rightarrow 0.0$ ）も大きく改善し窮屈感がなくなった。

設備投資を「実施した」企業（ $4.8\% \rightarrow 6.2\% \rightarrow 9.0\%$ ）は前期から2.8%増加した。

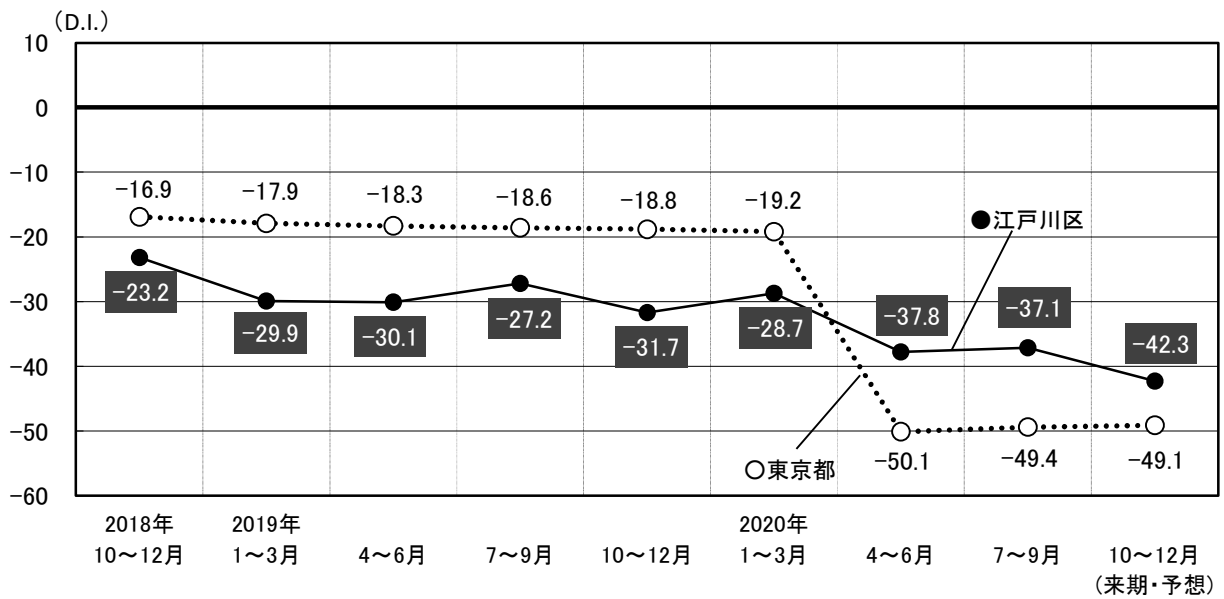
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 20.4$ 予想）は今期並の厳しさが続くと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

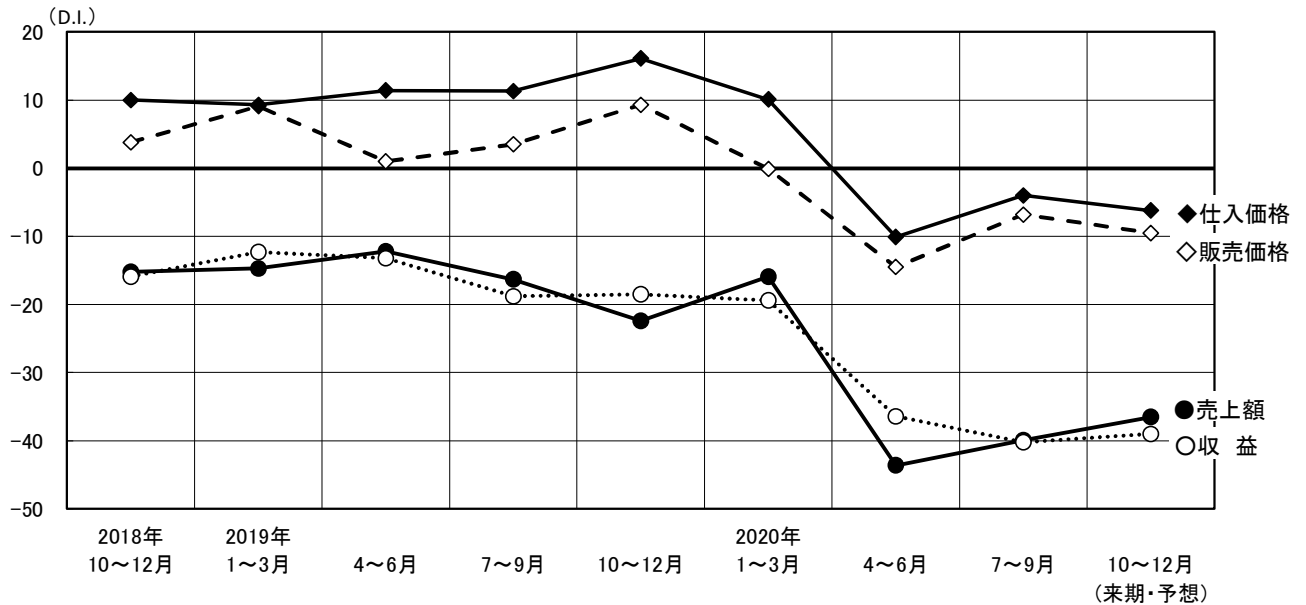
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（59.2%）が今期も最多となった。以下、「大型店との競争の激化」（28.2%）、「同業者間の競争の激化」（22.5%）、「商店街の集客力の低下」（14.1%）、「利幅の縮小」、「取引先の減少」（各7.0%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（45.1%）が今期も最多となった。以下、「品揃えを改善する」（25.4%）、「売れ筋商品を取り扱う」（18.3%）、「宣伝・広報を強化する」（15.5%）、「商店街事業を活性化させる」（8.5%）の順であった。

【小売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

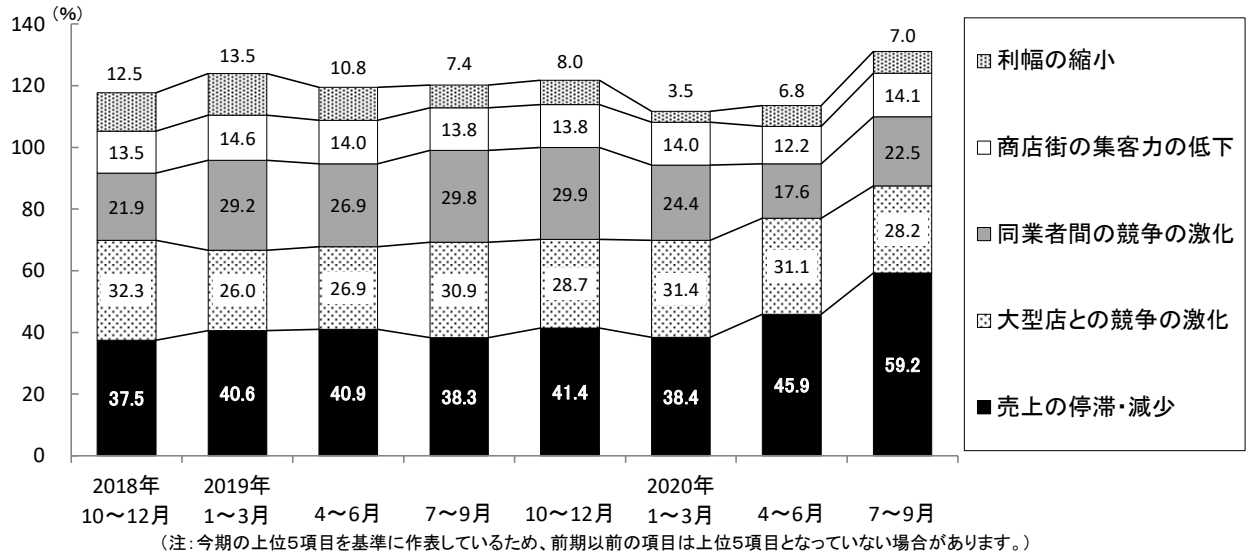


【小売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移



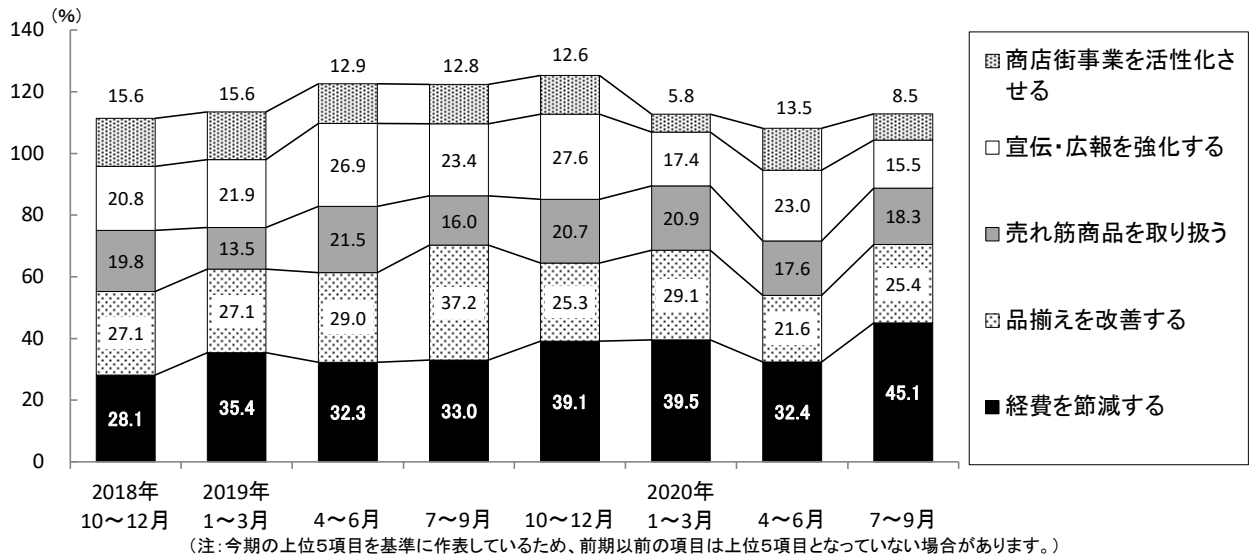
【小売業】 経営上の問題点 (複数回答)

2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期		2020年7～9月期	
売上の停滞・減少	41.4%	売上の停滞・減少	38.4%	売上の停滞・減少	45.9%	売上の停滞・減少	59.2%
同業者間の競争の激化	29.9%	大型店との競争の激化	31.4%	大型店との競争の激化	31.1%	大型店との競争の激化	28.2%
大型店との競争の激化	28.7%	同業者間の競争の激化	24.4%	同業者間の競争の激化	17.6%	同業者間の競争の激化	22.5%
商店街の集客力の低下	13.8%	商店街の集客力の低下	14.0%	商店街の集客力の低下	12.2%	商店街の集客力の低下	14.1%
仕入先からの値上げ要請 人手不足	10.3%	仕入先からの値上げ要請	9.3%	利幅の縮小	6.8%	利幅の縮小 取引先の減少	7.0%



【小売業】 重点経営施策 (複数回答)

2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期		2020年7～9月期	
経費を節減する	39.1%	経費を節減する	39.5%	経費を節減する	32.4%	経費を節減する	45.1%
宣伝・広報を強化する	27.6%	品揃えを改善する	29.1%	宣伝・広報を強化する	23.0%	品揃えを改善する	25.4%
品揃えを改善する	25.3%	売れ筋商品を取り扱う	20.9%	品揃えを改善する	21.6%	売れ筋商品を取り扱う	18.3%
売れ筋商品を取り扱う	20.7%	宣伝・広報を強化する	17.4%	売れ筋商品を取り扱う	17.6%	宣伝・広報を強化する	15.5%
商店街事業を活性化させる	12.6%	不動産の有効活用を図る	7.0%	商店街事業を活性化させる	13.5%	商店街事業を活性化させる	8.5%



小売業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 家具・じゅう器、家電・家庭用機械

業況（△54.9→△30.8→△50.3）は悪化傾向が極端に強まった。売上額（△52.4→△28.9→△61.5）と収益（△52.6→△27.9→△61.7）も減少・減益幅が非常に大きく拡大した。

販売価格（△8.6→△14.7→△12.1）は下降傾向がわずかに弱まり、仕入価格（△9.7→△14.3→△12.1）は好感感が幾分弱まった。

資金繰り（△20.9→△39.7→△23.0）は厳しさが大幅に和らいだが、借入難易度（△12.5→0.0→△16.7）は再び窮屈感が大きく現れた。

来期の見通しは、業況（△48.8 予想）は今期同様の悪化幅が続くと見ている。売上額（△53.8 予想）と収益（△55.0 予想）は厳しいながらもかなり改善すると見込まれている。販売価格（△12.6 予想）と仕入価格（△12.7 予想）はともに今期同様の下降幅で推移すると予想している。

② 飲食料品

業況（△21.9→△40.7→△53.6）は悪化傾向が大幅に強まった。売上額（△0.5→△41.4→△53.4）と収益（△0.7→△36.7→△53.1）も減少・減益幅が大きく拡大した。

販売価格（7.4→△9.9→△10.3）は前期同様の低下基調で推移し、仕入価格（12.9→△6.8→△3.8）は好調感がわずかに弱まった。

資金繰り（△1.3→△36.6→△31.5）は厳しさが若干和らぎ、借入難易度（△19.2→△15.0→0.0）は大きく改善され窮屈感がなくなった。

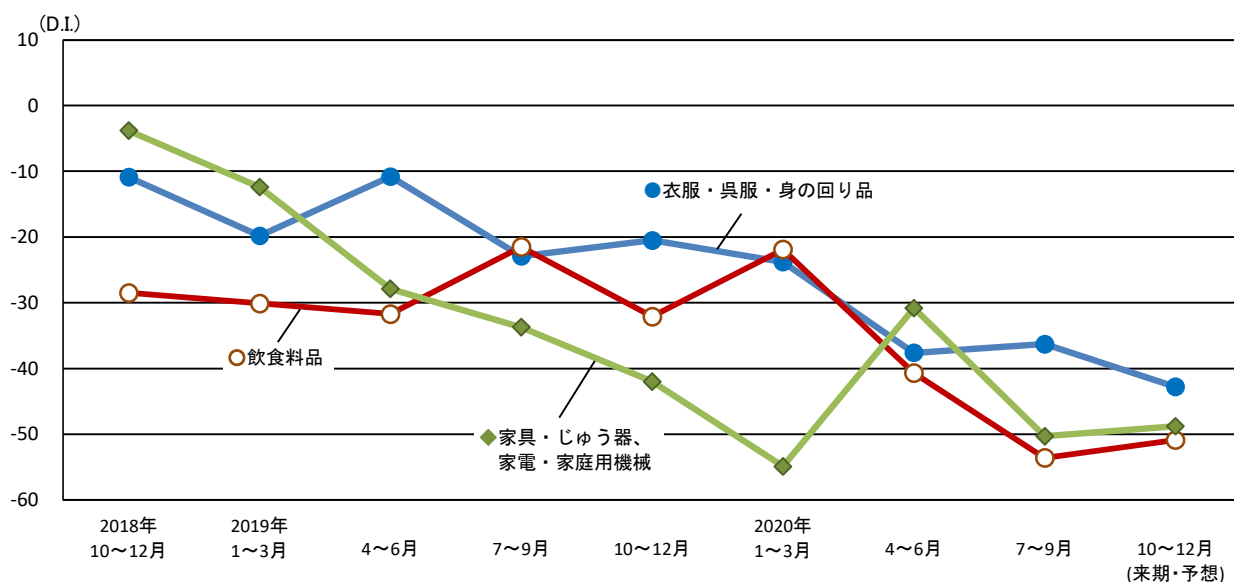
来期の見通しは、業況（△50.9 予想）は低迷が続くと見ているが、売上額（△36.2 予想）と収益（△35.3 予想）は大幅に持ち直すと見ている。販売価格（△11.3 予想）と仕入価格（△3.9 予想）は今期同様の下降水準で推移すると予想している。

③ 衣服、呉服、身の回り品

業況（△23.8→△37.6→△36.3）は前期同様の厳しさが続いた。売上額（△6.6→△30.0→△20.5）は大きく持ち直したが、収益（△5.6→△29.6→△29.4）は前期同様の減益幅が続いた。

販売価格（4.6→△9.3→△9.6）と仕入価格（8.5→△7.2→△6.3）はともに前期並の下降幅で推移した。借入難易度（△11.1→△22.2→△22.2）は前期並の厳しさが続き、資金繰り（△1.5→△12.0→△14.5）は窮屈感がわずかに強まった。

来期の見通しは、業況（△42.8 予想）は悪化傾向がさらに強まると見ている。売上額（△27.3 予想）と収益（△36.6 予想）は再び減少傾向がかなり強まると見ている。販売価格（△18.5 予想）は大幅に下降し厳しさが強まるが、仕入価格（△14.5 予想）は好感感が大幅に強まると予想している。



サービス業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（△11.1→△53.7→△46.8）は悪化傾向がかなり弱まったが厳しい状況が続いている。

売上額（△11.2→△54.5→△48.4）と収益（△14.5→△56.5→△46.1）も減少・減益幅が幾分縮小したものの、厳しい状況が続いている。

来期の見通しについて、業況（△44.4予想）、売上額（△42.4予想）、収益（△43.3予想）は引き続き上向くが、厳しい状況は続く予想している。

（２）料金、材料価格

料金（3.0→△19.2→△6.4）は下降傾向が大幅に改善したが、材料価格（20.2→△1.6→7.5）は再び厳しい状況に大きく転じた。

来期の見通しについて、料金（△3.7予想）は更に改善傾向が続くが、材料価格（7.4予想）は今期同様の上昇幅で推移すると予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△17.8→△39.7→△34.8）は厳しさがわずかに和らぎ、借入難易度（△15.7→△4.5→0.0）は窮屈感がなくなった。

設備投資を「実施した」企業（15.9%→8.9%→10.0%）は、前期から1.1ポイント増加した。

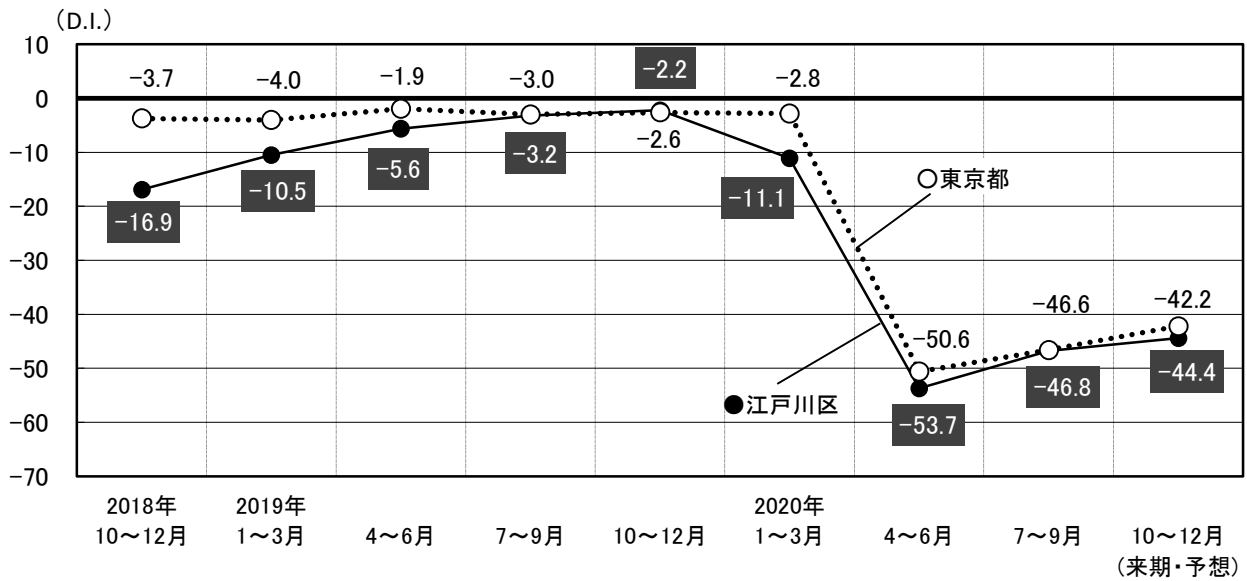
来期の見通しについて、資金繰り（△23.3予想）は厳しさが大幅に和らぐと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

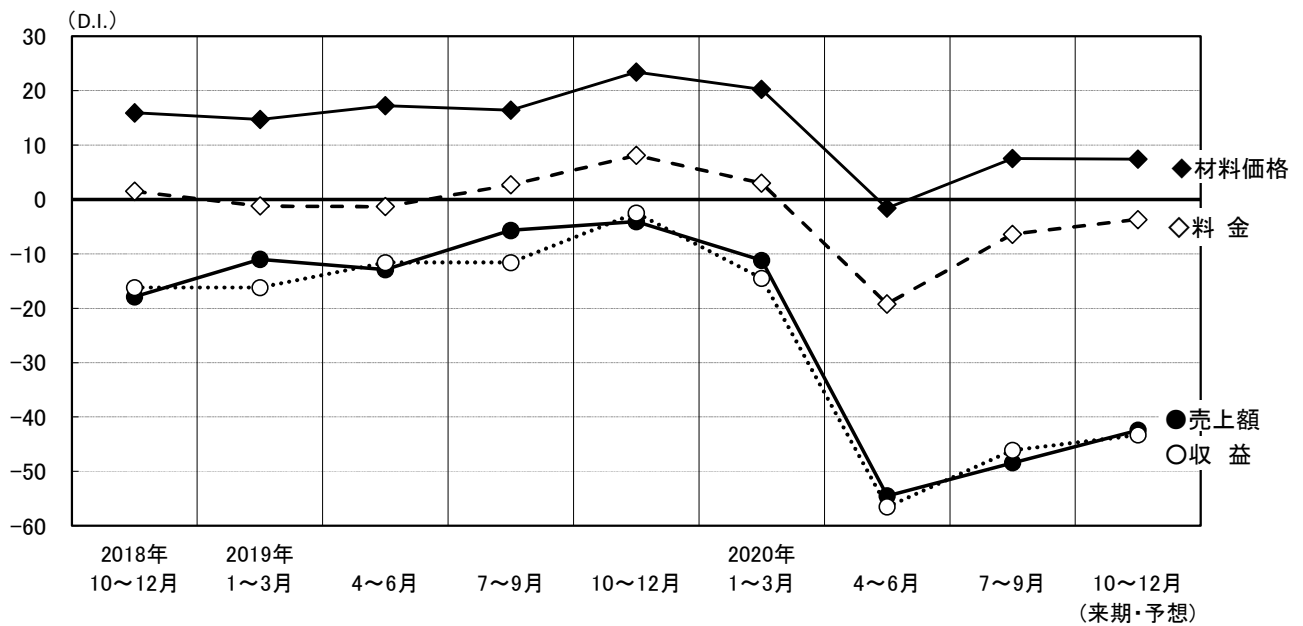
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（55.6%）が今期は最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（25.9%）、「利幅の縮小」（14.8%）、「人手不足」、「大企業との競争の激化」（各11.1%）の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」（40.7%）が今期は最多となった。以下、「経費を節減する」（38.9%）、「宣伝・広告を強化する」（24.1%）、「人材を確保する」（13.0%）、「提携先を見つける」、「技術力を強化する」、「店舗・設備を改装する」（各5.6%）の順であった。

【サービス業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

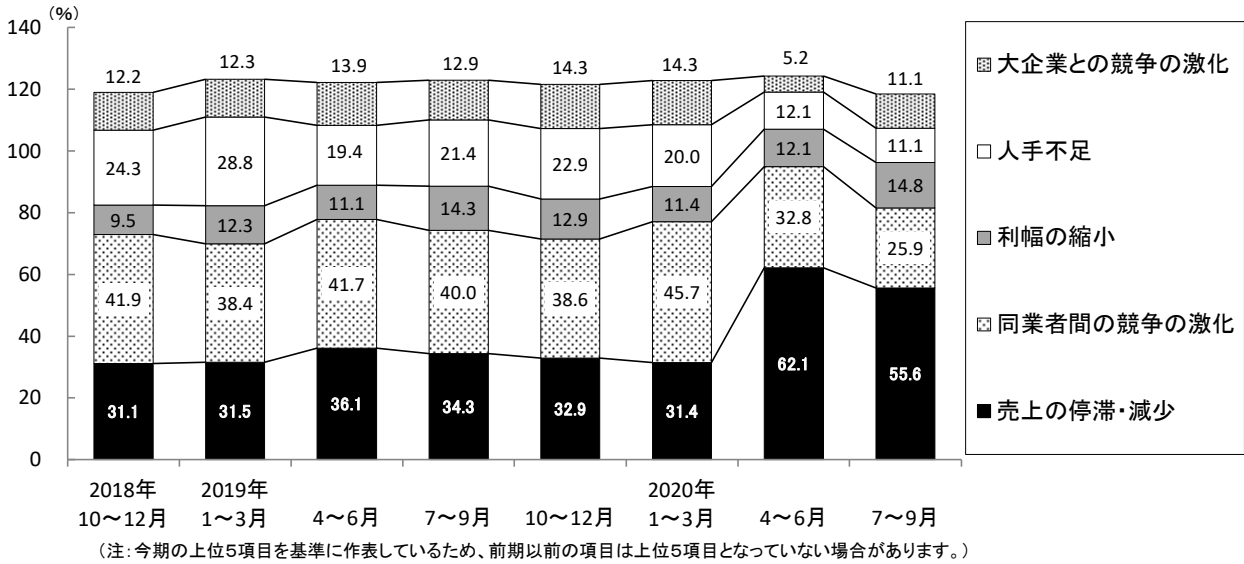


【サービス業】 売上額・収益・料金・材料価格の推移



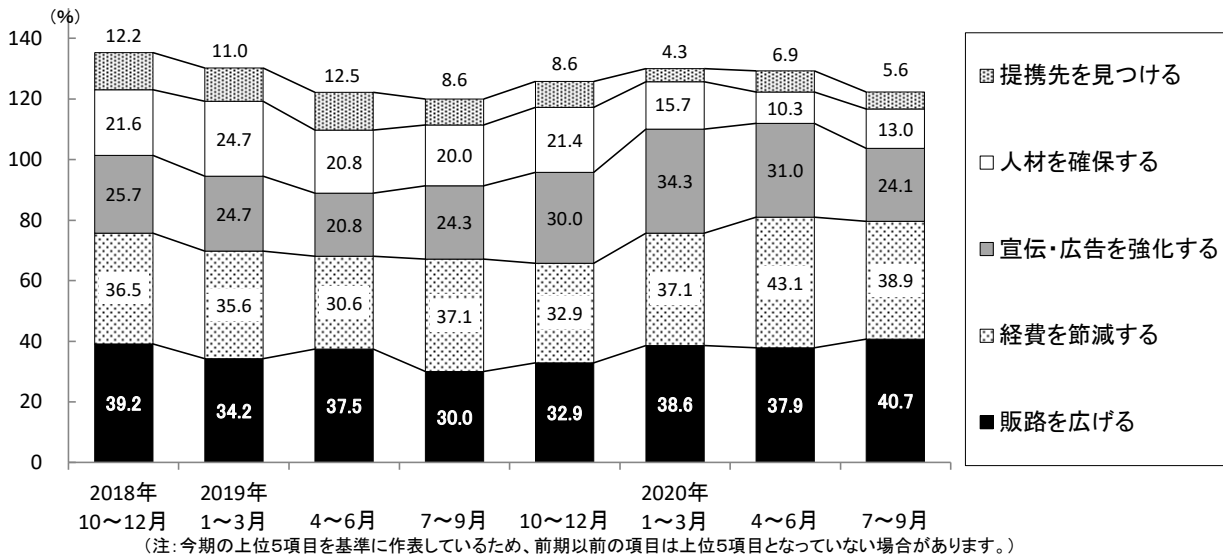
【サービス業】 経営上の問題点 (複数回答)

2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期		2020年7～9月期	
同業者間の競争の激化	38.6%	同業者間の競争の激化	45.7%	売上の停滞・減少	62.1%	売上の停滞・減少	55.6%
売上の停滞・減少	32.9%	売上の停滞・減少	31.4%	同業者間の競争の激化	32.8%	同業者間の競争の激化	25.9%
人手不足	22.9%	人手不足	20.0%	人手不足	12.1%	利幅の縮小	14.8%
大企業との競争の激化	14.3%	大企業との競争の激化 材料価格の上昇	14.3%	利幅の縮小		人手不足	11.1%
利幅の縮小 材料価格の上昇	12.9%	利幅の縮小	11.4%	取引先の減少	大企業との競争の激化		



【サービス業】 重点経営施策 (複数回答)

2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期		2020年7～9月期	
経費を節減する	32.9%	販路を広げる	38.6%	経費を節減する	43.1%	販路を広げる	40.7%
販路を広げる		経費を節減する	37.1%	販路を広げる	37.9%	経費を節減する	38.9%
宣伝・広告を強化する	30.0%	宣伝・広告を強化する	34.3%	宣伝・広告を強化する	31.0%	宣伝・広告を強化する	24.1%
人材を確保する	21.4%	技術力を強化する	17.1%	人材を確保する	10.3%	人材を確保する	13.0%
労働条件を改善する 技術力を強化する	10.0%	人材を確保する	15.7%	提携先を見つける	6.9%	提携先を見つける/技術力を強化する/店舗・設備を改装する	5.6%



建設業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、施工高、収益

業況（ $\Delta 6.1 \rightarrow \Delta 34.8 \rightarrow \Delta 17.4$ ）は厳しさがかなり和らいだ。

売上額（ $3.5 \rightarrow \Delta 40.4 \rightarrow \Delta 21.7$ ）、受注残（ $\Delta 0.8 \rightarrow \Delta 38.6 \rightarrow \Delta 24.7$ ）、施工高（ $\Delta 3.4 \rightarrow \Delta 37.6 \rightarrow \Delta 17.6$ ）、収益（ $\Delta 6.3 \rightarrow \Delta 43.7 \rightarrow \Delta 30.0$ ）も減少・減益傾向がかなり弱まった。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 28.8$ 予想）は厳しさが再び大きく増すと見ている。売上額（ $\Delta 28.0$ 予想）、受注残（ $\Delta 26.6$ 予想）、施工高（ $\Delta 22.6$ 予想）、収益（ $\Delta 32.2$ 予想）も再び減少・減益傾向を強めると予想している。

（２）請負価格、材料価格、在庫数量

請負価格（ $4.0 \rightarrow \Delta 9.6 \rightarrow \Delta 13.1$ ）は下降傾向をやや強め、材料価格（ $27.3 \rightarrow 17.2 \rightarrow 18.3$ ）は前期同様の上昇が続いた。

在庫数量（ $\Delta 5.8 \rightarrow \Delta 7.5 \rightarrow \Delta 5.3$ ）は品薄感がわずかに緩和された。

来期の見通しについて、請負価格（ $\Delta 15.5$ 予想）は下降傾向をわずかに強め、材料価格（ 19.2 予想）は今期並の上昇が続くと見ている。在庫数量（ $\Delta 7.5$ 予想）は再び品薄感が強まると予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 2.2 \rightarrow \Delta 15.0 \rightarrow \Delta 10.5$ ）は厳しさが多少和らいだが、借入難易度（ $8.0 \rightarrow 8.7 \rightarrow \Delta 4.6$ ）は大きく下降し苦しい状況に転じた。

設備投資を「実施した」企業（ $21.1\% \rightarrow 21.6\% \rightarrow 25.5\%$ ）は前期から3.9ポイント増加した。

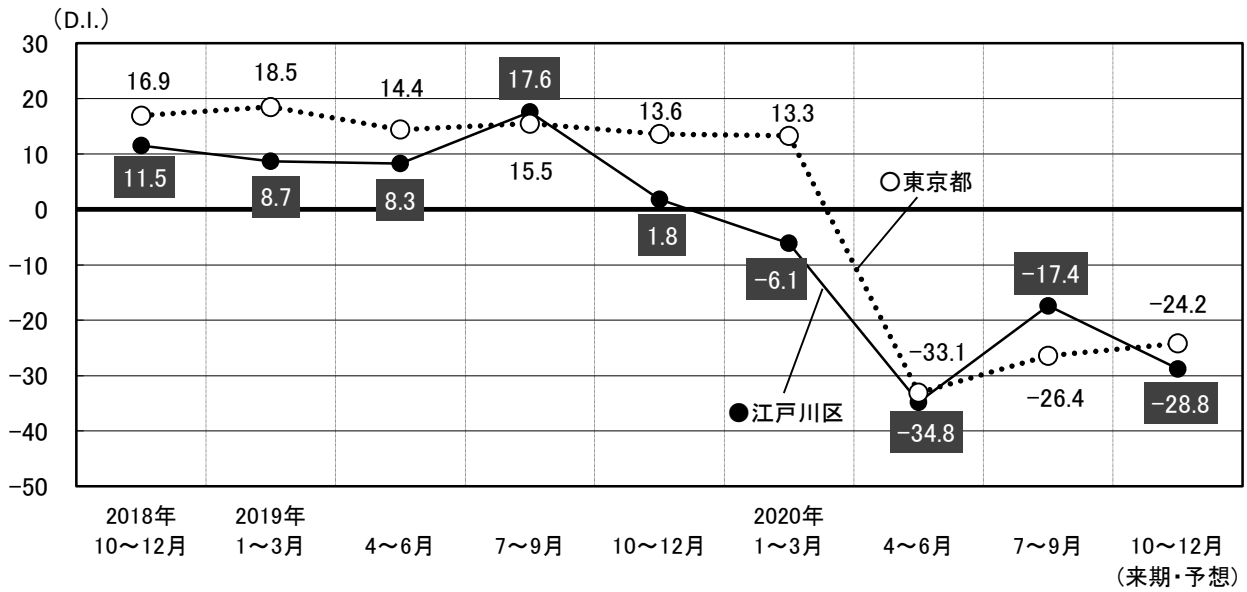
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 11.6$ 予想）は今期並の厳しさが続くと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

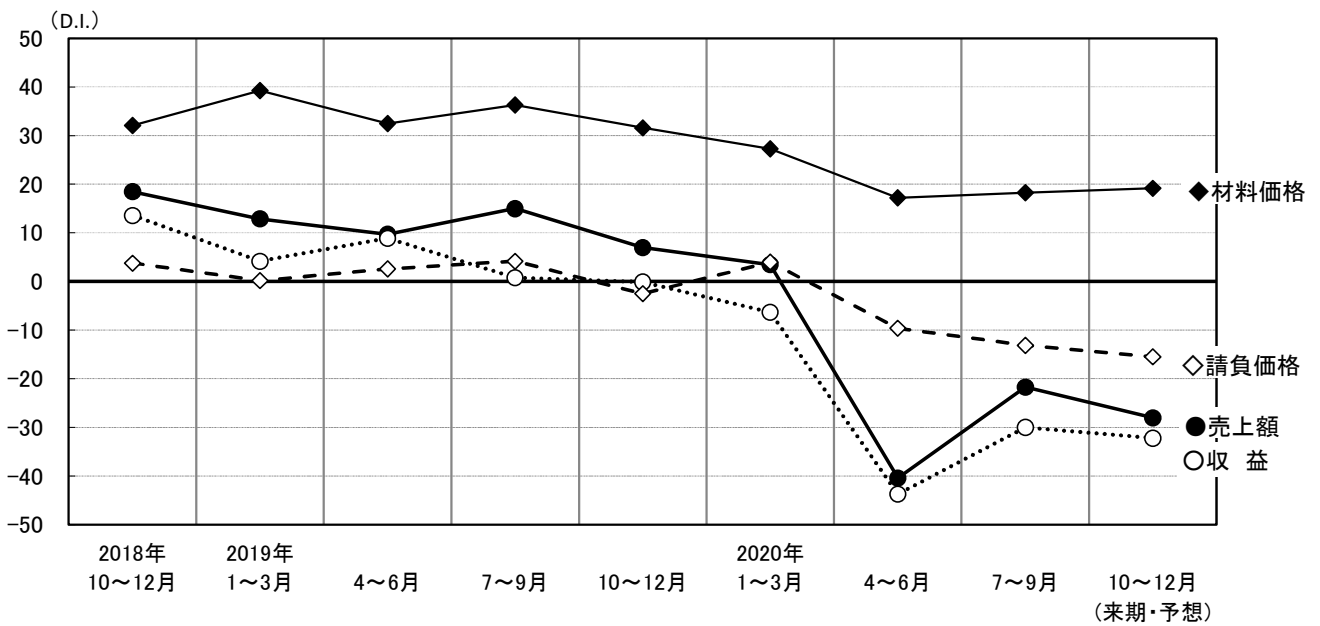
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（36.5%）が今期も最多となった。以下、「人手不足」（28.8%）、「人件費の増加」（19.2%）、「同業者間の競争の激化」、「利幅の縮小」（各17.3%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（40.4%）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」（34.6%）、「人材を確保する」（32.7%）、「技術力を高める」（30.8%）、「情報力を強化する」（21.2%）の順であった。

【建設業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

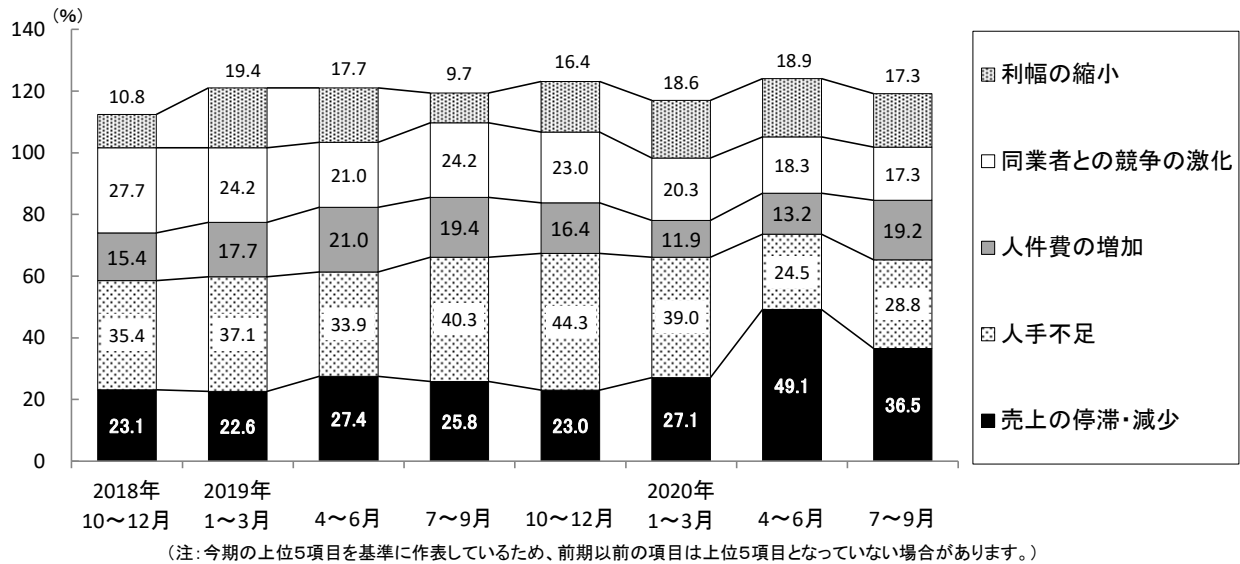


【建設業】 売上額、収益、請負価格、材料価格の推移



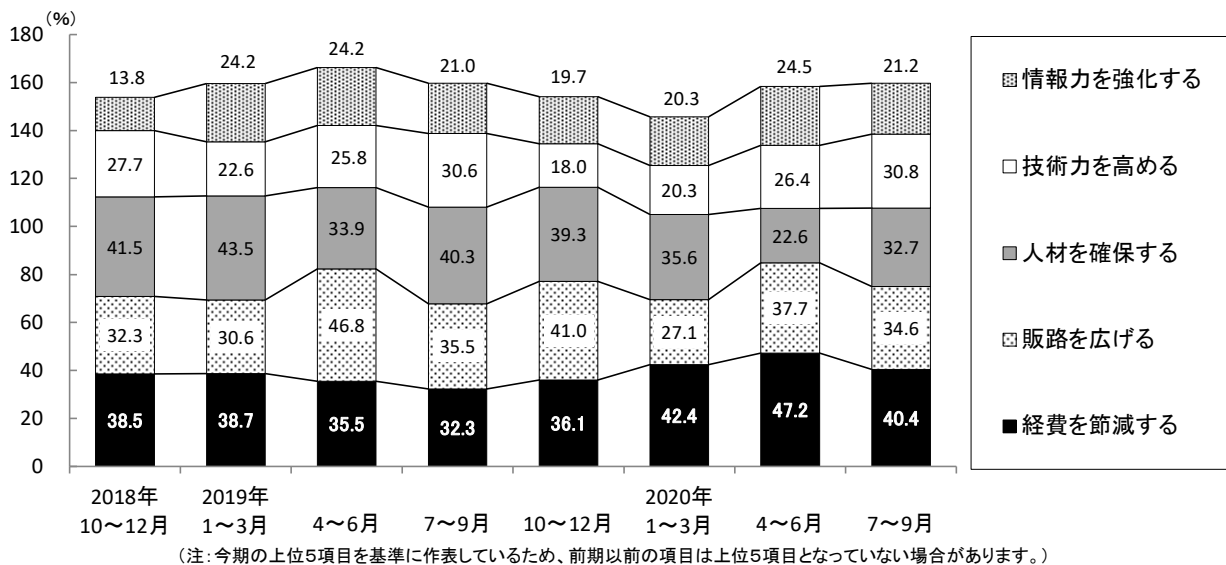
【建設業】 経営上の問題点 (複数回答)

2019年10~12月期		2020年1~3月期		2020年4~6月期		2020年7~9月期	
人手不足	44.3%	人手不足	39.0%	売上の停滞・減少	49.1%	売上の停滞・減少	36.5%
売上の停滞・減少	23.0%	売上の停滞・減少	27.1%	同業者間の競争の激化	28.3%	人手不足	28.8%
同業者間の競争の激化		同業者間の競争の激化	20.3%	人手不足	24.5%	人件費の増加	19.2%
人件費の増加 利幅の縮小	16.4%	利幅の縮小 下請の確保難	18.6%	利幅の縮小	18.9%	同業者との競争の激化	17.3%
下請の確保難 天候の不順	14.8%	材料価格の上昇	15.3%	下請の確保難 人件費の増加	13.2%	利幅の縮小	



【建設業】 重点経営施策 (複数回答)

2019年10~12月期		2020年1~3月期		2020年4~6月期		2020年7~9月期	
販路を広げる	41.0%	経費を節減する	42.4%	経費を節減する	47.2%	経費を節減する	40.4%
人材を確保する	39.3%	人材を確保する	35.6%	販路を広げる	37.7%	販路を広げる	34.6%
経費を節減する	36.1%	販路を広げる	27.1%	技術力を高める	26.4%	人材を確保する	32.7%
情報力を強化する	19.7%	情報力を強化する 技術力を高める	20.3%	情報力を強化する	24.5%	技術力を高める	30.8%
技術力を高める	18.0%	教育訓練を強化する	8.5%	人材を確保する	22.6%	情報力を強化する	21.2%



江戸川区独自の調査から

[景況全般について]

- ・一気に仕事が減り、資金ショートの状態。借入金の補助をして欲しい。(製造業)
- ・新型コロナの影響がじわじわ出ている感じで先が読めない。(製造業)
- ・コロナの影響はメッキ業界の中でもかなり取引先の業種によってバラツキがでている。当社も影響を受け、時間短縮・臨時休業を取り入れているが、コロナ収束後を考えて従業員の削減ではなく新規募集を行っている。(製造業)
- ・消費税の値上げによる景気の落ち込みに加えコロナショックでとんでもないことになっている。景気回復には個人消費、設備投資が重要。期限付きで良いので消費税0%、国内生産の促進策等コロナ収束はもちろん、早急に景気対策を行って欲しい。5月から急に落ち込み設備投資の延期、中止、延期も2ヶ月や3ヶ月ではなく1年2年の延期なになっている。指をくわえて見ているわけにはいかなのでメンテナンス分野に活路を見出そうと検討中。(建設業)
- ・7月はどん底でしたが、8月9月は徐々に回復しているように思える。(卸売業、小売業)
- ・業界自体は落ち込み傾向。(卸売業、小売業)
- ・昨年と同じくらい回復してきた。(サービス業)

[受注・売上・単価・仕事量等について]

- ・前年度の売上の半分以下、かなり悪化した。9月に入り少しずつ注文が入るようになったが、まだまだ苦しい状態。(製造業)
- ・不動産部は基本管理業で、大家さんから管理料を頂いているのでコロナの影響は少ない。DPT事業部(販売促進助成物の設計製作)はイベント・店舗改装などなどの自粛で大きく打撃を受けている。例えば展示会のジャパンショップ・おもちゃショー・他軒並み中止している。毎年かかわっていた携帯電話会社の販促イベントがなくなり製作物がなくなった。一般大型店舗の助成物も激減した。コロナが終息するまで辛抱するしかないが耐えられるかが問題。(製造業)
- ・7月は新型コロナで現場が5日休みになった。補填分として従業員は日給分支払ったが、雇用調整金は保険加入者のみで半分は会社が負担した。仕事はコロナが出れば現場は止まるので毎日現場にコロナが出ないように祈るばかり。単価が上昇しない限りは苦しい経営が続いている。(建設業)
- ・7月後半から受注が回復してきた。8~9月は、平年の9割程度の回復となった。また、今後の受注は、10月以降は、平年並みとなり、一部お断りをしている状況である。新型コロナ対策として、ズームを導入し、本格使用に備えている。(建設業)
- ・水廻りの設備関係。現状は通常に戻りつつあるが、やはり4月・5月の落ち込みが大きく、売上額を取り戻すにはまだまだかかりそう。(卸売業、小売業)
- ・コロナ影響で発注元によっては週2日出勤で、残りは在宅になっており十分に機能していないため売り上げが最悪になっている。早く収束しないと大変な事になる。(サービス業)
- ・コロナ感染の恐れから受講生がかなり減っており厳しい状況。感染予防に消毒を念入りに心がけている。(サービス業)

[経営上の課題]

- ・休業補償と緊急融資をうけて経営の安定をはかっている。(製造業)
- ・新型コロナウイルス感染対策。(医療、福祉)

[経営改善等に向けての取組み]

- ・新製品を考えている。(製造業)
- ・建設コンサルタント業。公共事業の発注状況は例年と同程度だが、今後、市町村の発注時期にはコロナの影響が表れるものと考えている。自社のテレワーク促進、発注者との協議、営業展開などこれまでと異なったやり方を模索中。業界としては適応できる業務形態なので、これをチャンスと捉えて、促進したいと思っている。(サービス業)
- ・経費の見直しとして部品の共通化を行い絞込み、在庫の削減など、売り上げはコロナ発生直後に大きな落ち込みがあったが、現在は前年比+10%までに回復した。通期ではややプラス予定(サービス業)
- ・自動化等の省略化投資。(医療、福祉)

江戸川区の企業倒産動向

(2020年7月～9月)

2020年7～9月期の江戸川区の倒産件数は、前期比14.3%増の8件（前期7件）、負債総額は同75.3%減の3億87百万円（同15億68百万円）であった。業種別にみると、件数では“宿泊業、飲食サービス業”が2件で最も多く、“建設業”と“情報通信業・運輸業”（各0件）以外の業種でそれぞれ1件ずつであった。負債総額も“宿泊業、飲食サービス業”が2億50百万円で最も多かった。

江戸川区の業種別倒産動向

(単位：件・百万円)

	前年同期 2019年7～9月		前期 2020年4～6月		今期 2020年7～9月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	1	20	1	200	1	10
卸売業	5	1,635	1	20	1	10
小売業	1	40	1	1,281	1	30
サービス業	1	10	1	10	1	11
建設業	2	335	1	37	0	0
不動産業	0	0	0	0	1	20
情報通信業・運輸業	2	100	1	10	0	0
宿泊業、飲食サービス業	2	30	0	0	2	250
その他	1	50	1	10	1	56
合計	15	2,220	7	1,568	8	387

東京都の企業倒産動向

(2020年7月～9月)

2020年7～9月期の東京都の倒産件数は、前期比43.8%増の384件（前期267件）、負債総額は同30.7%減の546億円（同788億円）であった。業種別にみると、件数では“サービス業”が80件で最も多く、次いで“卸売業”が72件であった。負債総額は“卸売業”が166億円で最も多く、以下、“宿泊業、飲食サービス”が89億円、“情報通信業、運輸業”が74億円となった。

1. 概況

(単位：件・億円)

	前年同期 2019年 7～9月	前期 2020年 4～6月	今期 2020年 7～9月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	件数	416	267	384	43.8%
負債総額	845	788	546	-30.7%	-35.4%

2. 原因別倒産動向

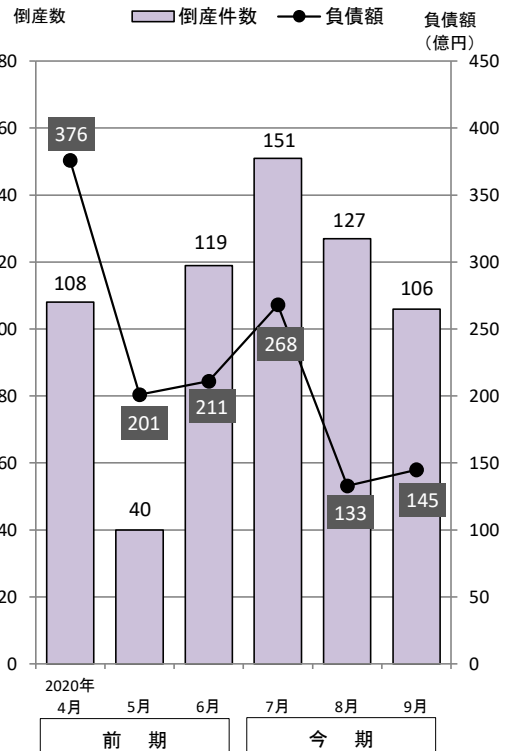
(単位：件)

	前年同期 2019年 7～9月	前期 2020年 4～6月	今期 2020年 7～9月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	販売不振	331	184	299	62.5%
既往のしわ寄せ	26	25	28	12.0%	7.7%
売掛金等回収難 (不況型計)	4	2	0	-100.0%	-100.0%
放漫経営	24	21	17	-19.0%	-29.2%
過小資本	9	6	6	0.0%	-33.3%
他社倒産の余波	14	25	22	-12.0%	57.1%
信用性低下	1	1	1	0.0%	0.0%
在庫状態悪化	0	0	0	-	-
設備投資過大	1	0	3	-	200.0%
その他	6	3	8	166.7%	33.3%
合計	416	267	384	43.8%	-7.7%

3. 業種別倒産動向

(単位：件・億円)

	前年同期 2019年7～9月		前期 2020年4～6月		今期 2020年7～9月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	41	128	20	59	26	70
卸売業	82	386	57	166	72	166
小売業	53	92	25	235	43	43
サービス業	76	54	52	83	80	45
建設業	51	46	24	22	29	21
不動産業	11	48	17	31	21	31
情報通信業・運輸業	53	28	27	35	53	74
宿泊業、飲食サービス業	34	17	30	89	45	89
その他	15	48	15	67	15	67
合計	416	845	267	788	384	546



特別調査 「新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応について」 (2020年9月上旬調査)

注1. 以下に示す割合は区内の中小企業(全6業種=468事業所)の回答を集計したものです。業種別の分析については企業数の少ない「卸売業」「不動産業」を除いた4業種についてのみ行っています。

注2. 回答により100%にならないこともあります。

本調査結果の特徴	① 売上高がコロナ前の水準に回復する時期	『来年以降回復する』46.3% 「コロナ前に到達・上回っている」7.6%
	② テレワーク等の出社を必要としない就労形態の実施(予定)状況	『実施済み(予定を含む)』10.6% うち「新型コロナウイルスをきっかけに」6.9% 「実施していない」84.7%
	③ 今現在の雇用ならびに1人当たりの給与支給額の方針	「雇用・支給額とも維持・増加する」 →<正規社員>49.6% <非正規社員>17.9% 「雇用は維持・増加するが支給額を減らす」 →<正規社員>9.9% <非正規社員>3.2%
	④ 今後の事業の見直しについての実施・検討状況	「勤務時間・勤務方法」25.3% 「職場環境(3密防止など)」24.7% 「調達先・調達方法(多様化・分散など)」14.2% 「実施・検討していない」49.5%
	⑤ 営業拡大の実施・検討策	「新しい顧客の開拓」25.9% 「既存顧客に対するサポートの徹底」16.8% 「実施・検討していない」49.5%

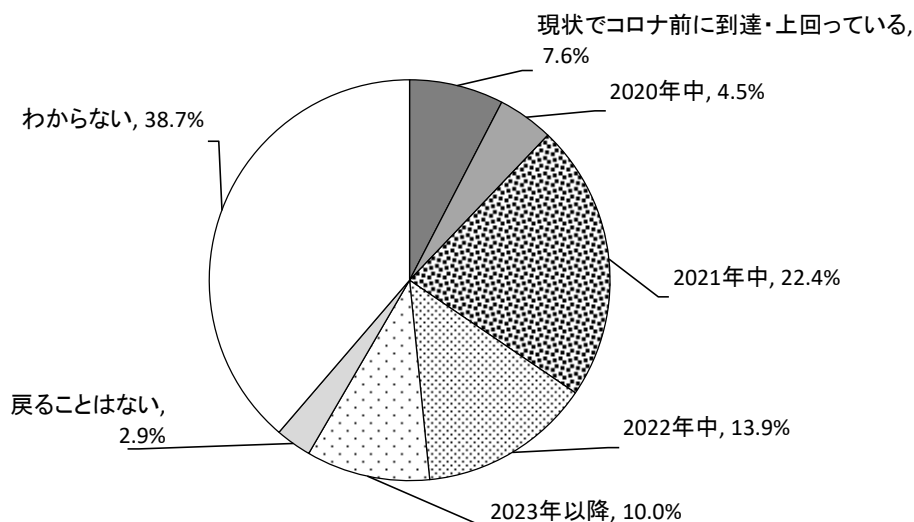
問1. 売上高がコロナ前の水準に回復する時期

区内の中小企業を対象に、売上高がコロナ前の水準に回復する時期について伺った。

その結果、回復の時期としては「2021年中」が22.4%で最も多く、次いで「2022年中」(13.9%)、「2023年以降」(10.0%)、「現状でコロナ前に到達・上回っている」(7.6%)、「2020年中」(4.5%)の順となった。一方、「戻ることはない」との回答が2.9%で、「わからない」が38.7%と最も高い割合であった。

業種別に見ると、「現状でコロナ前に到達・上回っている」と「2020年中」を合わせた『2020年中に回復』は“建設業”(21.1%)、“製造業”(13.1%)、“サービス業”(9.3%)、“小売業”(5.6%)の順であった。

表1 売上高がコロナ前の水準に回復する時期



※回答により 100%にならないこともあります。

問2. テレワーク等の出社を必要としない就労形態の実施(予定)状況

次に、出社を必要としない就労形態の実施について伺ったところ、『実施した(予定を含む)』との回答が10.6%であった。一方、『実施していない』は84.7%となっており、内訳は、「実施できる業務ではない」が68.5%と最も多く、以下、「従業員がいない(家族経営等)」(11.4%)、「実施コストがかかる」(1.9%)、「セキュリティ面で不安」(1.3%)などとなっている。

業種別に見ると、『実施していない』は“建設業”が92.2%で最も高く、以下“製造業”(85.1%)、“サービス業”(83.4%)、“小売業”(82.8%)の順となっている。

表2 実施済み(予定を含む) 10.6%

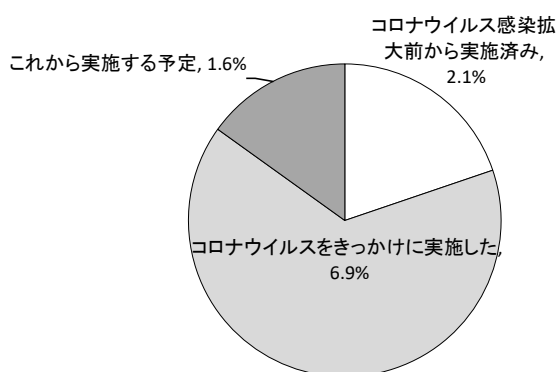
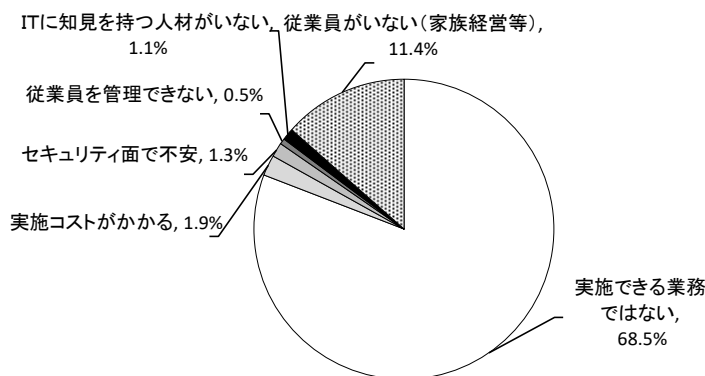


表3 実施していない 84.7%



※回答により 100%にならないこともあります。

問3. 今現在の雇用ならびに1人当たりの給与支給額の方針

従業員雇用ならびに1人当たりの支給額(給与、手当、賞与等)に関する方針について、正規社員、非正規社員(パート、アルバイト、派遣社員等)に対するそれぞれの考えを伺った。

その結果、正規社員では、「雇用、支給額とも維持・増加する」が49.6%で約半数であり、「雇用は維持・増加するが、支給額を減らす」が9.9%であった。一方、「該当者はいない」は32.5%であった。

非正規社員では、「雇用、支給額とも維持・増加する」が17.9%、「雇用は維持・増加するが、支給額を減らす」が3.2%であった。一方、「該当者はいない」が59.2%と過半数を超えた。

業種別にみると、「雇用、支給額とも維持・増加する」は、正規社員では“建設業”(64.7%)、“製造業”(47.2%)、“サービス業”(40.7%)、“小売業”(40.0%)の順となっており、非正規社員では“建設業”(21.6%)、“製造業”(20.8%)、“小売業”(11.4%)、“サービス業”(7.4%)の順となっている。

表4 正規社員

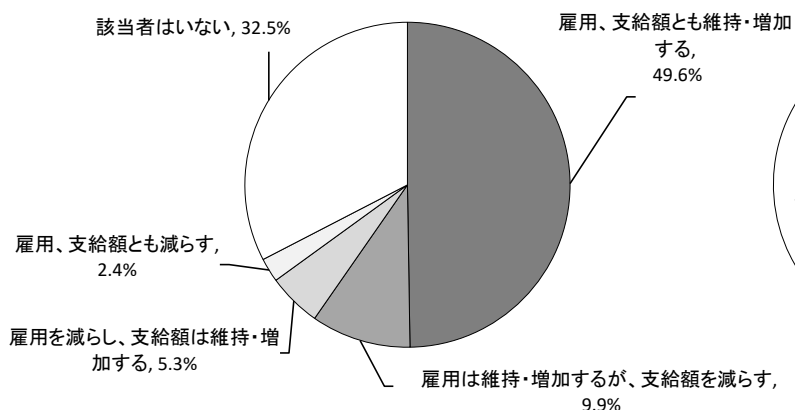
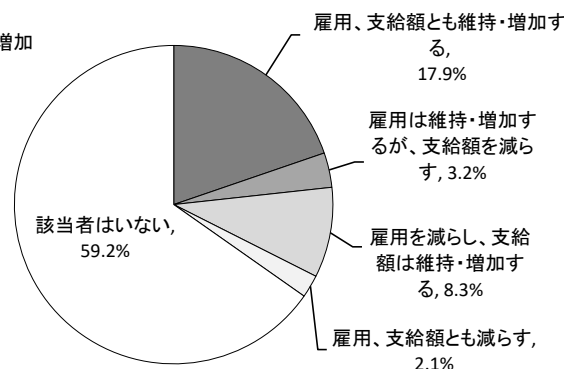


表5 非正規社員



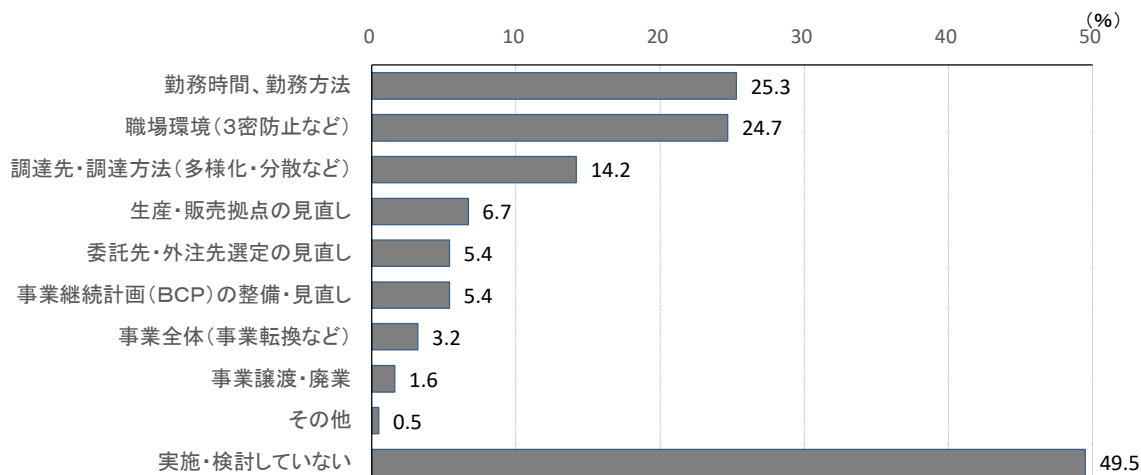
※回答により 100%にならないこともあります。

問4. 今後の事業の見直しについての実施・検討状況

今後の事業の見直しについての実施・検討状況について伺った(最大3項目まで)。その結果、「勤務時間、勤務方法」が25.3%で最も高く、次いで、「職場環境(3密防止など)」(24.7%)、「調達先・調達方法(多様化・分散など)」(14.2%)、「生産・販売拠点の見直し」(6.7%)などとなっている。一方、「実施・検討していない」は49.5%となっている。

業種別にみると、「勤務時間、勤務方法」は“サービス業”(32.7%)、“製造業”(24.4%)の順で高く、「職場環境(3密防止など)」は“サービス業”(32.7%)、“建設業”(28.0%)の順で高くなっている。一方、「実施・検討していない」は“小売業”が58.6%で最も高く、次いで、“製造業”(50.0%)となっている。

表6 今後の事業の見直しについての実施・検討状況



※回答により 100%にならないこともあります。

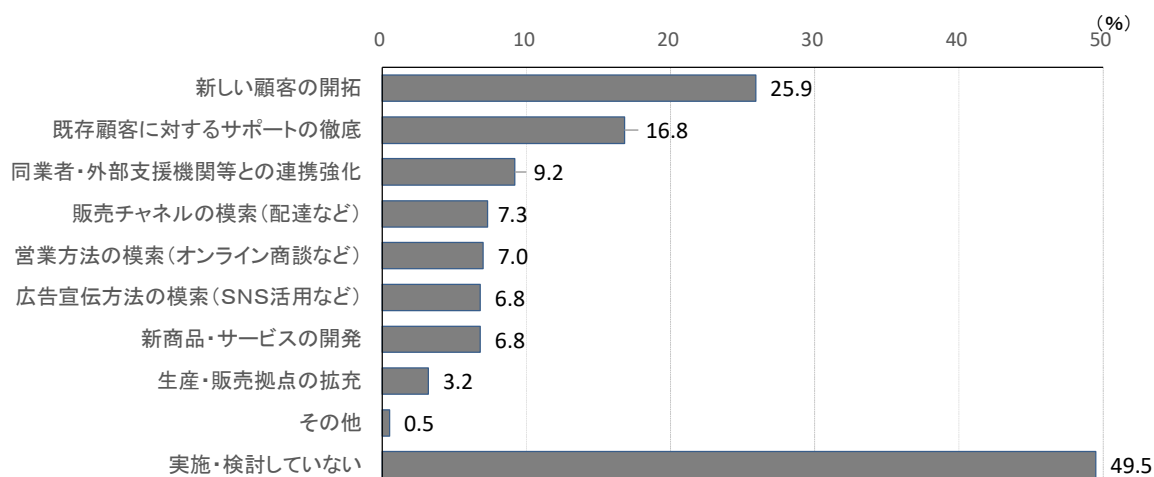
問5. 営業拡大の実施・検討策

最後に、営業拡大の観点から実施・検討していることについて伺った。

その結果、「新しい顧客の開拓」が25.9%で最も高く、次いで、「既存顧客に対するサポートの徹底」(16.8%)、「同業者・外部支援機関等との連携強化」(9.2%)、「販売チャネルの模索(配達など)」(7.3%)などとなっている。一方、「実施・検討していない」は49.5%であった。

業種別にみると、「新しい顧客の開拓」と「既存顧客に対するサポートの徹底」はともに“建設業”が最も高くなっている。また、「実施・検討していない」は全ての業種で5割前後と最も高くなっている。

表7 営業拡大の実施・検討策



※回答により 100%にならないこともあります。

		問5 営業拡大の観点から実施・検討していること											
		回答数	新しい顧客の開拓	既存顧客に対するサポートの徹底	同業者・外部支援機関等との連携強化	販売チャネルの模索（配達など）	営業方法の模索（オンライン商談など）	NS活用など	広告宣伝方法の模索（SNS）	新商品・サービスの開発	生産・販売拠点の拡充	その他	実施・検討していない
全業種		370	25.9	16.8	9.2	7.3	7.0	6.8	6.8	3.2	0.5	49.5	
製造業		160	25.6	16.3	10.6	6.3	7.5	2.5	8.8	3.1	-	50.6	
従業者規模	1人～4人	79	12.7	12.7	11.4	5.1	6.3	1.3	3.8	5.1	-	64.6	
	5人～9人	42	38.1	16.7	9.5	7.1	4.8	-	11.9	2.4	-	38.1	
	10人～19人	20	35.0	30.0	15.0	10.0	10.0	10.0	20.0	-	-	30.0	
	20人～29人	11	36.4	9.1	-	9.1	18.2	9.1	18.2	-	-	45.5	
	30人～39人	2	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	
	40人～49人	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	50人～99人	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3
	100人～199人	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	形態・立地	問屋・商社	16	25.0	6.3	-	6.3	-	-	18.8	6.3	-	56.3
大メーカー		20	40.0	35.0	30.0	10.0	10.0	-	15.0	5.0	-	45.0	
中小メーカー・仲間業者		93	24.7	15.1	9.7	4.3	5.4	3.2	6.5	3.2	-	50.5	
小売業者		15	20.0	6.7	13.3	6.7	20.0	-	-	-	-	46.7	
最終需要家		11	18.2	18.2	-	9.1	18.2	9.1	18.2	-	-	54.5	
業況	良い	7	28.6	42.9	42.9	-	28.6	-	28.6	-	-	14.3	
	普通	77	19.5	14.3	7.8	2.6	6.5	1.3	3.9	5.2	-	57.1	
	悪い	75	30.7	16.0	10.7	10.7	6.7	4.0	12.0	1.3	-	48.0	
小売業		70	18.6	14.3	2.9	12.9	2.9	17.1	2.9	2.9	1.4	51.4	
従業者規模	1人～4人	57	12.3	12.3	1.8	12.3	3.5	15.8	1.8	3.5	1.8	56.1	
	5人～9人	7	28.6	14.3	14.3	14.3	-	28.6	14.3	-	-	28.6	
	10人～19人	3	66.7	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	
	20人～29人	3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	
	30人～39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地	駅周辺商店街	10	20.0	30.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	50.0
住宅地隣接商店街		41	17.1	9.8	2.4	9.8	2.4	14.6	-	2.4	2.4	56.1	
団地内商店街		2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	
その他		16	25.0	18.8	6.3	18.8	6.3	31.3	12.5	-	-	43.8	
業況	良い	4	25.0	75.0	50.0	50.0	-	25.0	50.0	-	-	-	
	普通	37	18.9	13.5	-	8.1	2.7	13.5	-	2.7	-	54.1	
	悪い	29	17.2	6.9	-	13.8	3.4	20.7	-	3.4	3.4	55.2	
サービス業		50	26.0	20.0	4.0	6.0	6.0	6.0	8.0	4.0	-	52.0	
従業者規模	1人～4人	35	17.1	20.0	2.9	5.7	-	5.7	5.7	-	-	62.9	
	5人～9人	4	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	75.0	
	10人～19人	4	75.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	
	20人～29人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30人～39人	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
	40人～49人	2	50.0	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	
	50人～99人	2	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	
	100人～199人	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	業況	良い	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
普通		26	23.1	11.5	-	7.7	3.8	3.8	3.8	3.8	-	65.4	
悪い		23	30.4	30.4	8.7	4.3	8.7	8.7	13.0	4.3	-	34.8	
建設業		51	31.4	23.5	17.6	-	2.0	2.0	2.0	3.9	2.0	49.0	
従業者規模	1人～4人	19	10.5	10.5	5.3	-	-	-	-	5.3	-	73.7	
	5人～9人	13	38.5	23.1	15.4	-	-	-	-	-	7.7	38.5	
	10人～19人	8	37.5	37.5	50.0	-	-	-	-	-	-	37.5	
	20人～29人	5	80.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	
	30人～39人	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
	40人～49人	3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	
	50人～99人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地	官公庁	3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7
大企業		9	44.4	55.6	33.3	-	-	11.1	11.1	-	-	22.2	
中小企業		28	35.7	17.9	17.9	-	-	-	-	7.1	3.6	46.4	
個人		9	11.1	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	77.8	
業況	良い	6	50.0	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	16.7	
	普通	30	23.3	23.3	10.0	-	-	3.3	3.3	3.3	3.3	53.3	
	悪い	15	40.0	20.0	26.7	-	6.7	-	-	6.7	-	53.3	

東京都全体の中小企業の景況 (2020年7月～9月期)

業況はコロナショックによる悪化から停滞

都内中小企業の景況・6業種合計 (D.I.)



業況判断DI (季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は△43.9 (前期は△46.3)と前期に比べ2.4ポイント改善し、コロナ禍での記録的な落ち込みからの反動で回復が見られたものの停滞した。

製造業を除く全ての業種で反転し、僅かながら改善が見られた。業種別では不動産業の回復度合いが最も高い。建設業・サービス業においても改善し、卸売業・小売業は前期並で悪化に歯止めがかかった反面、製造業は前期よりも悪化を強めた。

来期は、今期大幅に改善した不動産業を除き、引き続き、生産・消費行動が戻ることを期待し、回復基調が続くと見られると予想するものの、コロナ終息の時期が見通せないことから、感染拡大前の業況に回復するには時間がかかると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-47.3	-49.4	-2.1	-46.8	2.6
卸売業	-50.8	-49.5	1.3	-48.2	1.3
小売業	-50.1	-49.4	0.7	-49.1	0.3
サービス業	-50.6	-46.6	4.0	-42.2	4.4
建設業	-33.1	-26.4	6.7	-24.2	2.2
不動産業	-35.9	-24.2	11.7	-25.5	-1.3
総合	-46.3	-43.9	2.4	-42.1	1.8

※前期 (2020年4～6月) 来期 (2020年10～12月)

<製造業>

業況は新型コロナウイルスの感染拡大の影響が続き、経済活動の再開で電気機械・輸送用機械など一部持ち直しがみられたものの、全体的には前期以上に厳しさを増した。売上額・受注残・収益についても悪化を強めた。価格面は変わらず、資金繰りの苦しさは改善されていない。

経営上の問題点の上位項目は「売上の停滞・減少」(56%)、「同業者間の競争の激化」(22%)、「利幅の縮小」(13%)の順となっている。重点経営施策の上位項目は「販路を広げる」(55%)、「経費を節減する」(47%)、3位に「情報力を強化する」(15%)と続いている。

来期の業況は回復に転じ、売上額・受注残・収益についても改善すると見ているが、その幅は小さい。

<小売業>

業況は消費活動が徐々に戻りつつあり、数値はわずかに改善されたが、厳しさが続いた。売上額・収益については、営業自粛や時短営業要請が繰り返された影響もあり回復にはほど遠く、前期同様に厳しい状態で推移した。価格面では販売価格の下降は続き、仕入価格は前期並の水準で推移した。資金繰りは緩和されず厳しさが続いた。

経営上の問題点は「売上の停滞・減少」が前期 49%から 56%と 2 期連続で拡大した。重点経営施策の上位項目は「経費を節減する」(46%)、「品揃えを改善する」(29%)、「宣伝・広告を強化する」(21%)となり、前期同様変化がなかった。

来期は、売上額・収益の減少・減益幅が縮小すると見ているが、業況は今期並に推移し、回復ペースは遅いと予想している。

<サービス業>

業況は前期の予想どおりマイナス数値をやや改善したが、低水準のまま推移した。新型コロナウイルス感染拡大第二波が小康状態になり、消費者の外出を促す動きが出たこと等により売上額・収益の減少傾向も一服し弱まった。価格面では、料金価格の低下は弱まり、材料価格は再び上昇傾向を強めた。資金繰りの窮屈感は弱まった。

経営上の問題点の上位項目は、「売上の停滞・減少」が前期 41%から 51%と 2 期連続で拡大し、「人手不足」についても 11%から 17%に拡大した。重点経営施策の上位項目は前期同様「経費を節減する」(43%)、「販路を広げる」(38%)、「宣伝・広告を強化する」(19%)と続いている。

来期の業況は各種「GoToキャンペーン」等の効果を期待し、回復基調が続くと予想しており、売上額・収益については更に減少幅を縮小すると見ている。

<建設業>

業況は前期の大幅な悪化からマイナス幅を狭め改善方向に転じた。売上額・収益についても減少・減益幅が若干縮小し、受注残・施工高はわずかながら減少度合を小さくした。価格面では請負価格・材料価格ともに変動なく推移し、資金繰りの苦しさは前期よりも改善された。

経営上の問題点の上位項目は「売上の停滞・減少」(40%)、2位に「人手不足」(28%)が上昇し、「同業者間の競争の激化」(26%)の順となった。重点経営施策の上位項目は前期同様に「経費を節減する」(45%)、「販路を広げる」(40%)、「人材を確保する」(31%)が続いている。

来期の業況は小幅な改善で今期並に推移すると予想している。売上額・受注残・施工高・収益については、マイナス幅が若干縮小すると見ている。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

江戸川区と東京都全体の比較表

(2020年7月～9月期)

製造業

【今期実績の比較】

	全 体		食料品		一般、金型、電気、輸送、精密機械器具		金属製品、建設用金属製品		パルプ・紙・紙加工品、出版業、印刷業、製本業		パルプ・紙、印刷、製本業		木材・木製品、家具・装備品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		プラスチック製品	
	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況	-41	-49	-57	-51	-31	-40	-20	-47	-44	-62	-44	-63	-43	-49	-60	-58	-50	-50
売上額	-41	-53	-63	-49	-26	-46	-23	-52	-42	-60	-42	-62	-41	-54	-70	-62	-63	-53
受注残	-41	-49	-47	-44	-34	-42	-22	-48	-41	-56	-41	-58	-42	-50	-56	-52	-63	-45
収益	-43	-51	-66	-51	-33	-43	-19	-50	-42	-58	-42	-61	-41	-47	-57	-59	-65	-52
販売価格	-15	-10	-8	-7	-10	-6	-2	-8	-20	-18	-20	-18	-3	-13	-14	-18	-38	-9
原材料価格	-1	3	8	11	-3	4	13	3	-12	-1	-12	-1	-3	-2	-9	1	-22	4
原材料在庫	-2	-2	-5	1	4	-1	7	-3	-4	-3	-4	-4	1	0	-13	-6	-25	-1
資金繰り	-26	-28	-34	-31	-29	-22	-16	-28	-19	-31	-19	-33	-21	-29	-49	-35	-37	-25
雇用																		
残業時間	-18	-27	-33	-22	-7	-25	-14	-27	-16	-33	-16	-33	-18	-18	-13	-21	-33	-25
人手	1	-1	17	7	0	-3	-7	-4	-5	-1	-5	-2	9	-4	-13	-1	0	-1
同期比																		
売上額	-49	-58	-58	-51	-43	-52	-39	-59	-53	-65	-53	-67	-46	-64	-63	-64	-67	-57
収益	-48	-57	-58	-55	-50	-50	-32	-56	-53	-63	-53	-66	-46	-61	-63	-64	-67	-55
経営上の問題点																		
① 売上の停滞・減少	55	56	75	58	57	52	39	51	53	64	53	63	82	62	50	54	67	53
② 同業者間の競争の激化	19	22	25	25	18	21	21	18	21	30	21	30	9	27	25	23	-	18
③ 人手不足	9	10	8	8	4	13	7	10	16	8	16	8	-	5	13	10	27	9
④ 利幅の縮小	9	13	-	9	11	12	14	18	5	14	5	14	18	18	-	14	7	11
⑤ 販売納入先からの値下げ要請	8	5	-	3	14	7	4	3	5	6	5	6	-	3	13	7	27	8
重点経営施策																		
① 販路を広げる	52	55	58	67	46	53	43	51	53	60	53	59	73	58	63	55	67	54
② 経費を節減する	46	47	58	46	50	43	29	47	53	53	53	53	46	49	50	44	33	42
③ 情報力を強化する	15	15	17	16	14	13	18	12	21	16	21	15	9	17	13	12	7	13
④ 人材を確保する	9	11	8	10	14	14	11	11	16	7	16	7	9	14	-	8	13	10
⑤ 新製品・技術を開発する	9	11	8	14	11	12	7	8	11	9	11	9	-	1	13	15	20	15
借入の難易度	-4	2	0	-6	-11	7	4	4	-6	-1	-6	-1	0	-4	-38	-6	7	4

【来期見通しの比較】

業況	-43	-47	-55	-44	-35	-38	-31	-48	-54	-59	-54	-59	-36	-51	-59	-54	-58	-50
売上額	-34	-44	-51	-40	-26	-36	-22	-45	-50	-51	-50	-52	-26	-53	-33	-46	-44	-51
受注残	-34	-41	-42	-33	-29	-33	-30	-42	-43	-48	-43	-49	-28	-47	-21	-43	-50	-44
収益	-34	-43	-57	-41	-24	-34	-24	-45	-44	-50	-44	-50	-24	-46	-35	-44	-52	-46
販売価格	-8	-9	-6	-8	-7	-5	4	-8	-6	-14	-6	-14	-5	-14	-1	-15	-21	-9
原材料価格	5	3	11	10	-3	3	19	5	6	1	6	0	-5	-1	5	2	5	5
原材料在庫	2	-2	-6	-1	4	-1	10	-1	9	-3	9	-4	0	-1	-1	0	-18	-3
資金繰り	-18	-25	-33	-28	-26	-22	-13	-26	2	-27	2	-28	-12	-29	-17	-25	-32	-26
雇用																		
残業時間	-17	-24	-33	-21	-11	-21	-11	-24	-21	-29	-21	-30	-18	-20	-13	-17	-27	-23
人手	0	-3	17	3	0	-4	-7	-5	-11	-4	-11	-4	9	-2	-13	-3	0	-1

*季節変動調整済D・を表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

*単純D・を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

*企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小売業

【今期実績の比較】

		全 体		家具・じゅう器、 家電・家庭用機械		飲食料品		衣服、呉服、 身の回り品	
		江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況		-37	-49	-50	-50	-54	-41	-36	-56
売上額		-40	-51	-62	-55	-53	-42	-21	-58
収益		-40	-51	-62	-50	-53	-44	-29	-58
販売価格		-7	-8	-12	-12	-10	-4	-10	-14
仕入価格		-4	2	-12	-4	-4	5	-6	-4
在庫		0	1	6	-3	0	1	-1	7
資金繰り		-19	-32	-23	-30	-32	-28	-15	-40
雇用	残業時間	-14	-16	-13	-12	-17	-12	-18	-14
	人手	-4	-4	0	-9	0	-5	-9	-3
同期比	売上額	-44	-56	-50	-57	-58	-45	-46	-65
	収益	-42	-54	-63	-56	-54	-44	-46	-64
	販売価格	-7	-6	0	-6	-4	-1	-18	-12
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	59	56	25	44	79	52	36	63
	② 大型店との競争の激化	28	21	38	32	21	25	55	19
	③ 同業者間の競争の激化	23	22	13	21	8	21	64	26
	④ 商店街の集客力の低下	14	14	38	10	13	14	18	16
	⑤ 取引先の減少	7	5	-	8	8	5	-	4
重点経営施策	① 経費を節減する	45	46	63	43	33	43	46	40
	② 品揃えを改善する	25	29	25	28	33	30	36	36
	③ 売れ筋商品を取り扱う	18	16	25	14	13	19	27	16
	④ 宣伝・広告を強化する	16	21	25	25	4	17	46	28
	⑤ 商店街事業を活性化させる	9	13	25	15	4	12	9	15
借入の難易度		0	-3	-17	-1	0	-4	-22	-5

【来期見通しの比較】

業況		-42	-49	-49	-52	-51	-41	-43	-56
売上額		-37	-46	-54	-51	-36	-38	-27	-52
収益		-39	-46	-55	-47	-35	-38	-37	-53
販売価格		-10	-8	-13	-10	-11	-5	-19	-13
仕入価格		-6	0	-13	-5	-4	3	-15	-7
在庫		-2	0	0	-4	-6	0	-7	3
資金繰り		-20	-30	-14	-26	-28	-27	-25	-37
雇用	残業時間	-16	-14	-13	-11	-17	-10	-18	-13
	人手	-3	-4	0	-6	0	-5	-9	-3

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

サービス業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-47	-47
売上額		-48	-50
収益		-46	-48
料金価格		-6	-3
材料価格		8	6
資金繰り		-35	-25
雇用	残業時間	-25	-23
	人手	-15	-11
同期比	売上額	-57	-57
	収益	-60	-55
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	56	51
	② 同業者間の競争の激化	26	29
	③ 利幅の縮小	15	10
	④ 大企業との競争の激化	11	4
	⑤ 人手不足	11	17
重点経営施策	① 販路を広げる	41	38
	② 経費を節減する	39	43
	③ 宣伝・広告を強化する	24	19
	④ 人材を確保する	13	19
	⑤ 技術力を強化する	6	11
借入の難易度		0	5

建設業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-17	-26
売上額		-22	-33
受注残		-25	-31
施工高		-18	-27
収益		-30	-32
請負価格		-13	-9
材料価格		18	12
在庫		-5	-5
資金繰り		-11	-13
雇用	残業時間	-17	-14
	人手	-23	-17
同期比	売上額	-29	-40
	収益	-31	-38
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	37	40
	② 人手不足	29	28
	③ 人件費の増加	19	10
	④ 利幅の縮小	17	16
	⑤ 同業者間の競争の激化	17	26
重点経営施策	① 経費を節減する	40	45
	② 販路を広げる	35	40
	③ 人材を確保する	33	31
	④ 技術力を高める	31	20
	⑤ 情報力を強化する	21	18
借入の難易度		-5	8

【来期見通しの比較】

業況		-44	-42
売上額		-42	-41
収益		-43	-40
料金価格		-4	-5
材料価格		7	4
資金繰り		-23	-22
雇用	残業時間	-19	-19
	人手	-15	-11

【来期見通しの比較】

業況		-29	-24
売上額		-28	-25
受注残		-27	-25
施工高		-23	-21
収益		-32	-26
請負価格		-16	-8
材料価格		19	11
在庫		-8	-6
資金繰り		-12	-12
雇用	残業時間	-17	-12
	人手	-21	-19

* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。

【サービス業】: 業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

【建設業】: 業況、売上額、受注残、施工高、収益、請負価格、材料価格、在庫、資金繰り

* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

江戸川区の業種別転記表

(2020年7月～9月期)

製造業

転記表 No.1

2020年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 10～12 月期
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期								
業 況	良 い	15.3	11.0	16.0	13.1	15.9	13.1	14.2	13.7	11.2	10.8	7.7	7.9	3.0	7.9	4.3	3.1		2.5	
	普 通	61.5	71.0	60.5	67.7	62.0	68.8	63.5	63.1	66.4	66.5	63.4	66.2	50.7	60.5	48.5	46.6		50.7	
	悪 い	23.2	18.0	23.5	19.2	22.1	18.1	22.3	23.2	22.4	22.7	28.9	25.9	46.3	31.6	47.2	50.3		46.8	
	D・I	-7.9	-7.0	-7.5	-6.1	-6.2	-5.0	-8.1	-9.5	-11.2	-11.9	-21.2	-18.0	-43.3	-23.7	-42.9	-47.2		-44.3	
	修正値	-9.6	-8.7	-7.9	-6.5	-6.2	-5.5	-7.7	-9.2	-12.3	-12.1	-19.2	-17.6	-40.2	-22.1	-40.6	-43.8	-0.4	-42.8	
	傾向値	-9.2		-9.5		-9.0		-7.9		-7.8		-10.0		-16.3		-25.3				
売 上 額	増 加	14.8	8.3	18.6	11.4	17.4	12.1	11.7	12.4	13.8	9.2	8.2	7.7	4.9	5.7	6.2	6.1		7.4	
	変 ら ず	61.1	74.6	61.8	72.3	60.0	74.3	66.0	68.4	68.3	74.0	65.1	73.3	45.1	69.0	42.6	45.7		50.6	
	減 少	24.1	17.1	19.6	16.3	22.6	13.6	22.3	19.2	17.9	16.8	26.7	19.0	50.0	25.3	51.2	48.2		42.0	
	D・I	-9.3	-8.8	-1.0	-4.9	-5.2	-1.5	-10.6	-6.8	-4.1	-7.6	-18.5	-11.3	-45.1	-19.6	-45.0	-42.1		-34.6	
	修正値	-9.5	-10.0	-2.4	-3.7	-5.9	-2.7	-8.2	-7.3	-5.2	-7.6	-17.6	-10.2	-42.0	-18.8	-41.4	-39.1	0.6	-33.5	
	傾向値	-7.5		-8.1		-7.4		-6.8		-5.9		-7.4		-14.6		-23.9				
受 注 残	増 加	15.8	7.3	17.1	10.4	13.3	11.6	9.7	10.4	10.7	7.2	8.2	4.1	3.7	7.3	3.7	5.6		4.3	
	変 ら ず	65.0	75.1	63.8	73.3	67.2	72.8	70.4	72.5	72.5	77.4	65.5	78.0	47.0	68.3	47.5	49.3		55.6	
	減 少	19.2	17.6	19.1	16.3	19.5	15.6	19.9	17.1	16.8	15.4	26.3	17.9	49.3	24.4	48.8	45.1		40.1	
	D・I	-3.4	-10.3	-2.0	-5.9	-6.2	-4.0	-10.2	-6.7	-6.1	-8.2	-18.1	-13.8	-45.6	-17.1	-45.1	-39.5		-35.8	
	修正値	-6.2	-11.2	-2.6	-6.9	-4.8	-4.2	-7.4	-6.1	-8.6	-7.9	-16.4	-13.4	-42.1	-15.8	-41.4	-36.5	0.7	-34.2	
	傾向値	-5.7		-6.2		-6.2		-5.9		-5.8		-8.1		-15.1		-24.4				
収 益	増 加	12.3	6.3	13.6	9.9	14.9	10.1	12.2	9.3	12.8	9.7	7.7	6.7	4.9	7.2	4.3	6.1		6.2	
	変 ら ず	64.5	75.2	68.3	73.8	65.1	75.3	65.5	71.5	65.8	72.4	64.6	72.3	46.3	66.5	45.7	45.4		52.4	
	減 少	23.2	18.5	18.1	16.3	20.0	14.6	22.3	19.2	21.4	17.9	27.7	21.0	48.8	26.3	50.0	48.5		41.4	
	D・I	-10.9	-12.2	-4.5	-6.4	-5.1	-4.5	-10.1	-9.9	-8.6	-8.2	-20.0	-14.3	-43.9	-19.1	-45.7	-42.4		-35.2	
	修正値	-12.6	-13.0	-4.4	-7.3	-5.8	-4.8	-8.5	-9.5	-10.3	-8.7	-17.9	-14.7	-41.0	-18.0	-42.5	-38.7	-1.5	-34.1	
	傾向値	-10.9		-11.6		-10.5		-8.7		-7.4		-9.0		-15.8		-25.1				
価 格 動 向	販 売 価 格	-1.0	-2.0	-1.0	-2.0	-1.0	-0.5	-1.0	-1.1	3.6	0.0	0.0	-1.1	-12.8	-3.6	-16.1	-15.3		-8.6	
	〃 修正値	-1.2	-1.3	-0.2	-1.9	-1.3	-1.0	-1.2	-1.7	2.3	0.0	0.5	-1.5	-11.3	-3.4	-14.7	-14.3	-3.4	-8.3	
	〃 傾向値	-1.5		-1.4		-1.2		-1.0		-0.4		0.3		-1.1		-4.4				
	原 材 料 価 格	18.8	14.6	16.0	13.3	20.5	13.0	15.3	12.9	16.4	15.3	15.9	10.9	1.8	12.4	-3.1	-0.6		4.9	
	〃 修正値	18.7	16.1	17.5	13.0	19.7	13.9	16.8	13.5	16.8	16.3	17.5	11.0	2.1	13.5	-1.3	0.9	-3.4	5.2	
	〃 傾向値	19.7		19.3		19.0		18.5		17.4		17.0		14.7		10.1				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原材料在庫数量	-3.4	-3.4	-0.5	-2.0	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	1.0	-0.6	-1.5	-0.6	-1.5	-1.9	-3.7		2.5	
	〃 修正値	-2.2	-2.6	0.1	-1.2	1.9	0.5	0.4	1.7	1.1	1.4	-0.4	-0.5	-1.8	-0.9	-1.7	-4.7	0.1	1.9	
	資金繰り	-7.9	-4.0	-10.0	-6.4	-2.6	-7.0	-5.1	-4.6	-8.7	-5.1	-9.8	-10.4	-31.9	-12.9	-25.9	-32.5		-17.3	
〃 修正値	-7.7	-6.0	-8.6	-6.2	-5.7	-6.2	-6.6	-7.0	-7.9	-6.6	-8.2	-9.9	-31.1	-11.4	-25.8	-31.4	5.3	-18.2		
前 年 同 期 比	売 上 額	-6.0		-1.5		-6.6		-7.1		-7.6		-14.4		-49.4		-48.8				
	収 益	-10.3		-5.5		-8.2		-6.6		-11.2		-19.5		-47.0		-48.2				
雇 用	残 業 時 間	0.5	0.0	0.5	1.0	-0.5	0.5	-4.6	-1.5	-5.1	-2.6	-4.6	-6.2	-25.6	-4.7	-17.9	-20.8		-16.9	
	人 手	-11.3	-11.7	-12.6	-11.4	-10.2	-13.7	-13.2	-11.4	-15.3	-14.5	-16.5	-15.2	0.0	-15.7	1.2	-5.4		0.0	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	23.2	12.4	19.6	14.0	18.0	17.3	20.9	15.6	22.4	16.0	24.4	17.3	30.7	13.5	34.0	20.6		15.1	
	借入しない/借入の予定なし(%)	76.8	87.6	80.4	86.0	82.0	82.7	79.1	84.4	77.6	84.0	75.6	82.7	69.3	86.5	66.0	79.4		84.9	
	借入難易度	-2.3		2.9		-1.2		-1.8		0.0		-3.1		-3.5		-3.5				
有効回答事業所数	203		200		196		197		196		195		164		162					

製造業

転記表 No.2

2020年7月～9月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 10～12 月期
	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	-7.9	-3.9	-5.6	-5.5	-6.3	-6.7	-5.1	-4.7	-4.1	-4.8	-6.2	-5.8	-4.2	-4.7	-2.5	-4.9		-4.4	
	実施した・予定あり	16.0	15.8	15.9	15.2	15.9	18.4	15.0	18.4	18.5	16.2	16.8	15.3	9.4	14.1	10.7	11.2		10.3	
	事業用土地・建物	15.6	9.7	9.7	10.0	16.7	5.7	17.2	17.6	13.9	12.9	21.9	13.8	20.0	23.1	11.8	23.5		25.0	
	機械・設備の新・増設	59.4	41.9	32.3	40.0	26.7	34.3	34.5	35.3	38.9	32.3	31.3	34.5	26.7	30.8	35.3	23.5		31.3	
	機械・設備の更改	37.5	45.2	29.0	50.0	33.3	28.6	44.8	29.4	44.4	32.3	43.8	48.3	33.3	26.9	11.8	47.1		25.0	
	事務機器	12.5	9.7	25.8	13.3	20.0	17.1	17.2	17.6	27.8	12.9	21.9	20.7	13.3	23.1	29.4	11.8		18.8	
	車両	9.4	22.6	35.5	16.7	23.3	31.4	24.1	23.5	11.1	29.0	25.0	20.7	46.7	23.1	58.8	29.4		31.3	
	その他	-	-	3.2	-	6.7	5.7	3.4	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	84.0	84.2	84.1	84.8	84.1	81.6	85.0	81.6	81.5	83.8	83.2	84.7	90.6	85.9	89.3	88.8		89.7	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	30.0		29.5		33.7		33.5		36.2		37.4		49.4		54.9			
人手不足		13.3		16.0		11.7		18.3		15.3		17.9		8.5		9.3				
大手企業との競争の激化		8.9		10.0		11.2		8.6		7.7		9.2		8.5		8.0				
同業者間の競争の激化		20.2		25.0		19.4		20.3		20.4		20.0		17.1		19.1				
親企業による選別の強化		3.0		2.5		2.0		1.5		3.1		2.6		1.2		1.9				
輸入製品との競争の激化		6.4		5.0		5.6		3.6		4.1		3.6		3.7		3.7				
合理化の不足		3.9		3.5		4.6		5.6		3.1		3.1		3.0		3.1				
利幅の縮小		17.7		15.0		17.3		16.2		14.8		17.4		13.4		8.6				
原材料高		16.3		16.0		19.4		13.2		15.8		12.3		11.6		8.0				
販売納入先からの値下げ要請		7.9		6.0		5.1		4.6		5.1		5.6		8.5		8.0				
仕入先からの値上げ要請		5.4		4.0		3.6		5.6		3.6		2.1		0.6		1.9				
人件費の増加		3.4		5.0		7.7		7.1		7.1		7.2		3.7		3.7				
人件費以外の経費増加		2.5		3.5		2.6		4.6		3.1		2.1		2.4		2.5				
工場・機械の狭小・老朽化		6.9		8.5		7.7		9.6		9.7		8.2		8.5		6.2				
生産能力の不足		5.9		3.0		3.1		3.6		2.0		1.5		1.8		4.9				
下請の確保難		2.0		3.5		4.1		3.6		3.6		3.6		5.5		3.1				
代金回収の悪化		1.0		1.0		0.5		0.5		-		1.0		0.6		1.2				
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-				
天候の不順		0.5		1.0		-		0.5		1.0		2.1		1.2		-				
地場産業の衰退		2.0		3.0		2.6		2.5		2.0		2.1		1.2		2.5				
大手企業・工場の縮小・撤退	1.0		0.5		1.0		2.0		1.0		0.5		1.8		3.1					
為替レートの変動	0.5		0.5		-		0.5		-		0.5		-		-					
その他	0.5		1.5		-		0.5		1.5		2.1		7.3		4.3					
問題なし	13.8		12.0		11.7		10.7		13.3		11.3		12.2		10.5					
重点経営施策(%)	販路を広げる	51.7		50.0		52.0		49.2		48.5		48.2		53.0		51.9				
	経費を節減する	39.4		39.0		38.3		41.6		40.8		42.1		39.6		46.3				
	情報力を強化する	12.3		13.0		15.8		18.3		14.8		12.8		12.2		14.8				
	新製品・技術を開発する	11.3		8.5		11.2		11.2		8.2		8.7		9.1		8.6				
	不採算部門を整理・縮小する	3.4		4.5		2.6		4.1		3.1		2.1		3.7		3.1				
	提携先を見つける	7.9		8.0		7.1		6.6		6.6		7.2		7.3		4.3				
	機械化を推進する	5.9		7.5		6.6		6.1		6.1		7.7		4.9		6.8				
	人材を確保する	10.3		12.5		11.7		15.7		17.9		17.4		8.5		9.3				
	パート化を図る	1.5		2.5		1.5		2.0		2.0		1.5		1.2		0.6				
	教育訓練を強化する	2.5		4.5		5.1		4.1		4.1		6.2		3.0		3.7				
	労働条件を改善する	2.0		3.0		1.5		1.5		2.6		1.5		3.0		1.9				
	工場・機械を増設・移転する	4.9		5.5		3.6		4.6		4.1		4.1		4.9		1.9				
	不動産の有効活用を図る	1.0		-		-		-		-		1.0		-		-				
	その他	0.5		0.5		0.5		-		0.5		0.5		1.8		-				
特になし	16.7		15.0		16.8		14.2		13.3		13.3		18.3		16.7					
有効回答事業所数	203		200		196		197		196		195		164		162					

小売業

転記表 No.1

2020年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 10～12 月期
		10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期						
業 況	良 い	7.4	7.4	4.2	5.3	6.7	3.2	4.3	4.4	3.4	3.2	5.8	4.6	8.5	3.7	5.6	1.4		2.9
	普 通	61.0	64.9	61.1	64.9	61.1	62.1	64.8	64.5	59.8	64.5	59.3	57.5	46.4	56.8	52.1	60.0		52.8
	悪 い	31.6	27.7	34.7	29.8	32.2	34.7	30.9	31.1	36.8	32.3	34.9	37.9	45.1	39.5	42.3	38.6		44.3
	D・I	-24.2	-20.3	-30.5	-24.5	-25.5	-31.5	-26.6	-26.7	-33.4	-29.1	-29.1	-33.3	-36.6	-35.8	-36.7	-37.2		-41.4
	修 正 値	-23.2	-22.8	-29.9	-24.5	-30.1	-30.0	-27.2	-30.3	-31.7	-30.6	-28.7	-32.6	-37.8	-33.3	-37.1	-38.6	0.7	-42.3
	傾 向 値	-23.0		-23.4		-24.9		-26.2		-27.9		-28.8		-30.0		-32.7			
売 上 額	増 加	8.4	7.2	6.3	5.3	11.1	4.2	7.4	5.6	6.9	6.4	9.3	5.8	4.2	7.1	4.2	4.2		5.7
	変 ら ず	70.5	76.3	71.8	77.7	70.0	77.0	69.2	74.4	64.4	71.3	65.1	74.4	46.5	65.5	50.7	56.4		52.9
	減 少	21.1	16.5	21.9	17.0	18.9	18.8	23.4	20.0	28.7	22.3	25.6	19.8	49.3	27.4	45.1	39.4		41.4
	D・I	-12.7	-9.3	-15.6	-11.7	-7.8	-14.6	-16.0	-14.4	-21.8	-15.9	-16.3	-14.0	-45.1	-20.3	-40.9	-35.2		-35.7
	修 正 値	-15.2	-13.1	-14.7	-12.7	-12.2	-14.0	-16.3	-17.3	-22.4	-18.0	-15.9	-14.5	-43.6	-18.4	-39.9	-33.6	3.7	-36.5
	傾 向 値	-15.0		-15.0		-13.0		-12.2		-14.2		-15.4		-20.1		-27.9			
収 益	増 加	8.4	9.3	5.2	7.4	10.0	3.1	6.4	4.4	6.9	4.3	9.4	5.8	5.6	6.0	4.2	4.2		4.3
	変 ら ず	70.5	74.2	76.0	74.5	70.0	79.2	69.1	72.3	70.1	73.4	60.0	81.4	50.7	63.9	50.7	60.6		52.8
	減 少	21.1	16.5	18.8	18.1	20.0	17.7	24.5	23.3	23.0	22.3	30.6	12.8	43.7	30.1	45.1	35.2		42.9
	D・I	-12.7	-7.2	-13.6	-10.7	-10.0	-14.6	-18.1	-18.9	-16.1	-18.0	-21.2	-7.0	-38.1	-24.1	-40.9	-31.0		-38.6
	修 正 値	-15.9	-12.3	-12.3	-12.9	-13.2	-13.3	-18.8	-20.0	-18.5	-20.6	-19.4	-10.3	-36.4	-21.2	-40.2	-28.9	-3.8	-39.0
	傾 向 値	-16.7		-15.7		-13.0		-12.5		-14.0		-15.4		-19.9		-26.2			
価 格 動 向	販 売 価 格	5.2	2.1	9.3	2.1	2.2	4.2	2.2	3.3	12.7	6.4	-1.2	10.5	-16.9	1.2	-8.5	-16.9		-10.0
	〃 修 正 値	3.8	3.1	9.1	3.1	1.0	2.8	3.5	1.0	9.3	6.8	-0.1	10.3	-14.5	2.2	-6.8	-15.4	7.7	-9.5
	〃 傾 向 値	5.2		6.0		6.1		5.0		5.7		5.3		1.6		-2.1			
	仕 入 価 格	10.5	3.1	9.4	7.4	12.3	10.4	9.6	11.1	18.4	14.9	9.3	16.2	-12.7	10.7	-7.1	-11.5		-8.6
	〃 修 正 値	10.0	5.7	9.3	7.4	11.4	9.7	11.3	9.0	16.1	16.6	10.1	15.2	-10.1	11.1	-4.0	-9.6	6.1	-6.2
	〃 傾 向 値	9.8		10.0		10.1		10.3		11.4		12.4		9.3		4.1			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-1.1	-7.2	-2.1	1.1	6.7	-1.1	5.3	6.8	3.5	4.3	1.1	2.3	-5.7	1.2	-1.5	-7.1		-2.9
	〃 修 正 値	-2.5	-5.4	-1.9	-0.6	3.8	-0.4	6.6	4.7	2.0	5.5	2.1	0.9	-6.4	1.9	-0.3	-7.2	6.1	-1.9
	資 金 繰 り	-12.6	-12.4	-13.6	-14.8	-7.7	-14.6	-14.9	-10.1	-12.6	-12.8	-11.6	-13.9	-29.6	-14.3	-18.3	-25.4		-18.6
〃 修 正 値	-13.8	-14.2	-14.1	-15.5	-9.8	-14.4	-15.2	-11.1	-14.3	-14.5	-12.1	-15.1	-28.9	-14.2	-18.6	-24.6	10.3	-20.4	
前 年 同 期 比	売 上 額	-16.9		-16.6		-7.8		-17.0		-17.3		-18.6		-45.1		-43.7			
	収 益	-13.7		-14.6		-12.2		-17.0		-18.4		-20.9		-40.9		-42.3			
	販 売 価 格	6.3		9.4		4.5		5.3		9.2		4.7		-12.8		-7.1			
雇 用	残 業 時 間	-4.3	-2.1	-4.3	-3.2	-2.3	-6.4	-8.5	-6.9	-8.1	-6.4	-4.7	-6.0	-18.5	-5.9	-14.3	-15.7		-15.9
	人 手	-7.4	-7.3	-9.4	-7.6	-4.5	-12.6	-7.4	-4.5	-7.0	-9.7	-8.2	-8.3	-7.2	-8.3	-4.2	-4.4		-2.8
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	16.0	7.4	10.4	7.5	14.4	8.3	18.1	9.1	20.7	4.3	17.4	7.1	21.7	9.4	25.4	13.0		7.0
	借入しない/借入の予定なし(%)	84.0	92.6	89.6	92.5	85.6	91.7	81.9	90.9	79.3	95.7	82.6	92.9	78.3	90.6	74.6	87.0		93.0
	借 入 難 易 度	-7.3		-9.1		-5.8		0.0		-2.9		-15.6		-10.9		0.0			
有効回答事業所数	96		96		93		94		87		86		74		71				

小売業

転記表 No.2

2020年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		対前期比	2020年10～12月期
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-7.4	-8.4	-2.1	-7.5	-5.6	-3.1	-5.3	-5.8	-3.5	-6.4	-1.1	-6.0	-4.3	-2.3	-7.0	-5.8		-4.4	
	実施した・予定あり	3.2	5.4	5.3	4.4	8.0	5.4	8.6	2.4	5.8	2.3	4.8	3.6	6.2	6.1	9.0	3.1		9.1	
	事業用土地・建物	-	20.0	20.0	25.0	-	40.0	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	20.0	16.7	-		16.7	
	事務機器	66.7	20.0	20.0	25.0	71.4	40.0	37.5	100.0	60.0	50.0	25.0	33.3	25.0	20.0	16.7	50.0		33.3	
	車両	-	40.0	40.0	25.0	14.3	20.0	12.5	-	-	-	25.0	33.3	25.0	40.0	50.0	50.0		33.3	
	その他	66.7	40.0	20.0	50.0	28.6	-	37.5	-	60.0	50.0	25.0	33.3	25.0	20.0	33.3	50.0		33.3	
	実施しない・予定なし	96.8	94.6	94.7	95.6	92.0	94.6	91.4	97.6	94.2	97.7	95.2	96.4	93.8	93.9	91.0	96.9		90.9	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	37.5		40.6		40.9		38.3		41.4		38.4		45.9		59.2				
	人手不足	6.3		12.5		8.6		8.5		10.3		8.1		4.1		1.4				
	同業者間の競争の激化	21.9		29.2		26.9		29.8		29.9		24.4		17.6		22.5				
	大型店との競争の激化	32.3		26.0		26.9		30.9		28.7		31.4		31.1		28.2				
	輸入製品との競争の激化	1.0		1.0		1.1		2.1		-		-		1.4		-				
	利幅の縮小	12.5		13.5		10.8		7.4		8.0		3.5		6.8		7.0				
	取扱商品の陳腐化	2.1		3.1		3.2		2.1		3.4		2.3		1.4		1.4				
	販売商品の不足	3.1		1.0		4.3		2.1		2.3		2.3		4.1		2.8				
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		1.1		1.1		-		-		-		-				
	仕入先からの値上げ要請	8.3		6.3		10.8		11.7		10.3		9.3		2.7		5.6				
	人件費の増加	2.1		4.2		2.2		2.1		3.4		1.2		1.4		-				
	人件費以外の経費の増加	2.1		2.1		1.1		3.2		2.3		4.7		4.1		2.8				
	取引先の減少	8.3		6.3		3.2		7.4		8.0		4.7		5.4		7.0				
	商圏人口の減少	5.2		4.2		7.5		5.3		6.9		2.3		-		-				
	商店街の集客力の低下	13.5		14.6		14.0		13.8		13.8		14.0		12.2		14.1				
	店舗の狭小・老朽化	3.1		4.2		3.2		3.2		3.4		5.8		2.7		4.2				
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	-		1.0		-		-		-		-		-		-				
	天候の不順	4.2		-		-		3.2		5.7		8.1		-		5.6				
	地場産業の衰退	2.1		-		-		2.1		-		1.2		-		-				
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		1.0		-		-		-		1.2		-		1.4				
	その他	-		-		2.2		2.1		4.6		3.5		4.1		4.2				
問題なし	15.6		12.5		10.8		11.7		10.3		14.0		13.5		8.5					
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	27.1		27.1		29.0		37.2		25.3		29.1		21.6		25.4				
	経費を節減する	28.1		35.4		32.3		33.0		39.1		39.5		32.4		45.1				
	宣伝・広報を強化する	20.8		21.9		26.9		23.4		27.6		17.4		23.0		15.5				
	新しい事業を始める	2.1		1.0		1.1		1.1		1.1		1.2		1.4		1.4				
	店舗・設備を改装する	2.1		4.2		2.2		6.4		5.7		5.8		-		4.2				
	仕入先を開拓・選別する	10.4		11.5		6.5		5.3		4.6		3.5		4.1		4.2				
	営業時間を延長する	3.1		4.2		4.3		3.2		3.4		3.5		2.7		1.4				
	売れ筋商品を取り扱う	19.8		13.5		21.5		16.0		20.7		20.9		17.6		18.3				
	商店街事業を活性化させる	15.6		15.6		12.9		12.8		12.6		5.8		13.5		8.5				
	機械化を推進する	1.0		2.1		1.1		2.1		1.1		1.2		-		1.4				
	人材を確保する	4.2		5.2		5.4		1.1		5.7		3.5		4.1		2.8				
	パート化を図る	1.0		-		1.1		1.1		3.4		2.3		1.4		1.4				
	教育訓練を強化する	2.1		1.0		1.1		1.1		1.1		1.2		1.4		1.4				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	3.1		3.1		2.2		2.1		3.4		7.0		2.7		1.4				
	その他	-		1.0		2.2		2.1		2.3		3.5		-		1.4				
	特になし	22.9		17.7		12.9		17.0		14.9		19.8		23.0		19.7				
有効回答事業所数	96		96		93		94		87		86		74		71					

サービス業

転記表 No.1

2020年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 10～12 月期
		10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期			
業 況	良 い	9.6	12.0	12.3	6.8	13.9	9.7	12.9	9.7	10.0	8.6	7.1	8.7	1.7	7.1	1.9	1.8		1.9
	普 通	63.0	66.7	65.8	67.2	72.2	70.9	74.2	73.6	75.7	74.3	74.3	73.9	41.4	67.2	49.0	44.6		50.9
	悪 い	27.4	21.3	21.9	26.0	13.9	19.4	12.9	16.7	14.3	17.1	18.6	17.4	56.9	25.7	49.1	53.6		47.2
	D・I	-17.8	-9.3	-9.6	-19.2	0.0	-9.7	0.0	-7.0	-4.3	-8.5	-11.5	-8.7	-55.2	-18.6	-47.2	-51.8		-45.3
	修正値	-16.9	-11.4	-10.5	-19.5	-5.6	-11.3	-3.2	-7.8	-2.2	-10.7	-11.1	-9.2	-53.7	-19.6	-46.8	-48.8	6.9	-44.4
	傾 向 値	-14.7		-13.8		-11.4		-8.4		-5.2		-3.7		-10.9		-23.7			
売 上 額	増 加	11.0	13.3	13.7	8.2	8.3	5.5	11.4	5.6	10.0	10.0	8.6	7.1	3.4	7.1	-	3.5		1.9
	変 ら ず	58.9	70.7	61.6	69.9	76.4	72.6	72.9	73.6	72.9	71.4	70.0	71.5	37.9	65.8	50.9	35.1		52.8
	減 少	30.1	16.0	24.7	21.9	15.3	21.9	15.7	20.8	17.1	18.6	21.4	21.4	58.7	27.1	49.1	61.4		45.3
	D・I	-19.1	-2.7	-11.0	-13.7	-7.0	-16.4	-4.3	-15.2	-7.1	-8.6	-12.8	-14.3	-55.3	-20.0	-49.1	-57.9		-43.4
	修正値	-17.9	-3.0	-11.0	-14.8	-12.9	-15.8	-5.7	-15.5	-4.1	-9.6	-11.2	-15.7	-54.5	-19.3	-48.4	-55.2	6.1	-42.4
	傾 向 値	-10.5		-10.2		-10.2		-10.5		-8.9		-7.6		-13.8		-25.5			
収 益	増 加	11.0	9.3	8.2	8.2	11.1	6.8	7.1	5.6	7.1	5.7	7.1	2.9	3.4	7.2	-	3.4		1.9
	変 ら ず	58.9	68.0	67.1	67.1	73.6	72.7	75.8	75.0	80.0	70.0	68.6	80.0	36.2	66.7	52.8	34.5		50.9
	減 少	30.1	22.7	24.7	24.7	15.3	20.5	17.1	19.4	12.9	24.3	24.3	17.1	60.4	26.1	47.2	62.1		47.2
	D・I	-19.1	-13.4	-16.5	-16.5	-4.2	-13.7	-10.0	-13.8	-5.8	-18.6	-17.2	-14.2	-57.0	-18.9	-47.2	-58.7		-45.3
	修正値	-16.2	-14.5	-16.2	-15.9	-11.6	-12.4	-11.6	-15.1	-2.5	-18.9	-14.5	-15.3	-56.5	-18.2	-46.1	-56.3	10.4	-43.3
	傾 向 値	-16.1		-15.8		-14.7		-12.9		-10.8		-9.2		-15.9		-27.2			
価 格 動 向	料 金 価 格	0.0	-1.3	-1.3	-5.4	1.3	-1.4	4.3	-2.8	8.6	0.0	2.8	1.5	-20.7	-1.5	-5.6	-20.7		-1.9
	〃 修正値	1.5	-1.2	-1.2	-4.7	-1.3	-2.9	2.7	-3.0	8.1	-1.3	3.0	0.3	-19.2	-2.7	-6.4	-18.2	12.8	-3.7
	〃 傾向値	0.2		0.1		-0.6		0.0		2.2		3.7		1.5		-2.5			
	材 料 価 格	13.7	14.7	13.7	13.7	18.0	9.6	18.5	16.7	23.2	15.7	20.0	14.5	-3.5	21.8	7.7	1.7		7.7
	〃 修正値	15.9	14.5	14.7	15.0	17.2	12.3	16.4	14.2	23.4	13.9	20.2	14.8	-1.6	22.4	7.5	1.0	9.1	7.4
	〃 傾向値	18.0		16.7		15.7		15.7		17.2		19.1		17.2		13.2			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	-10.9	-12.0	-19.2	-8.2	-15.5	-19.2	-12.8	-14.1	-7.1	-14.3	-20.0	-12.9	-43.1	-21.8	-35.8	-43.1		-24.5
	〃 修正値	-11.0	-12.8	-17.6	-8.7	-15.8	-18.7	-15.4	-15.0	-8.7	-13.7	-17.8	-14.7	-39.7	-20.0	-34.8	-40.8	4.9	-23.3
前 年 同 期 比	売 上 額	-11.0		-13.7		-9.7		-2.9		-11.4		-14.3		-62.1		-56.6			
	収 益	-16.5		-22.0		-5.6		-7.1		-2.9		-18.9		-62.1		-60.4			
雇 用	残 業 時 間	-6.9	-5.3	-10.9	-7.1	-5.5	-9.9	-8.6	-5.7	-4.3	-4.3	-11.4	-2.9	-36.3	-4.4	-24.5	-29.8		-18.9
	人 手	-16.4	-20.3	-21.9	-21.1	-20.8	-23.9	-18.6	-21.1	-20.0	-18.6	-12.8	-18.8	-3.5	-13.3	-15.1	-5.3		-15.1
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	12.5	6.8	9.6	7.0	18.1	5.6	18.6	5.7	12.9	8.8	10.0	10.1	31.5	10.3	35.3	22.8		9.8
	借入しない/借入の予定なし(%)	87.5	93.2	90.4	93.0	81.9	94.4	81.4	94.3	87.1	91.2	90.0	89.9	68.5	89.7	64.7	77.2		90.2
	借入難易度	0.0		0.0		-7.5		-10.2		-8.5		-15.7		-4.5		0.0			
有効回答事業所数		74		73		72		70		70		70		58		54			

サービス業

転記表 No.2

2020年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想（予定）値です。

項目	調査期	2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 10～12 月期
		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	-6.8	-8.3	-2.7	-5.5	-9.9	-4.2	-2.9	-14.3	0.0	-5.8	-1.5	1.4	-8.7	-4.6	-9.6	-10.7		-9.8
	実施した・予定あり	15.5	15.3	11.4	17.9	13.2	12.7	11.6	13.6	19.1	11.9	15.9	15.4	8.9	15.2	10.0	10.9		12.2
	事業用土地・建物	9.1	18.2	12.5	16.7	33.3	11.1	37.5	11.1	15.4	12.5	9.1	10.0	20.0	20.0	40.0	16.7		16.7
	機械・設備の新・増設	18.2	27.3	25.0	25.0	33.3	11.1	25.0	22.2	38.5	37.5	36.4	40.0	-	30.0	40.0	-		16.7
	機械・設備の更改	18.2	9.1	-	33.3	11.1	11.1	12.5	33.3	38.5	-	27.3	30.0	-	10.0	40.0	16.7		33.3
	事務機器	45.5	27.3	37.5	33.3	55.6	22.2	37.5	22.2	30.8	25.0	45.5	50.0	80.0	30.0	20.0	16.7		33.3
	車両	36.4	63.6	62.5	41.7	33.3	44.4	25.0	44.4	30.8	62.5	27.3	40.0	60.0	50.0	20.0	66.7		50.0
	その他	9.1	9.1	12.5	-	11.1	11.1	12.5	-	7.7	12.5	9.1	-	-	10.0	-	-		-
	実施しない・予定なし	84.5	84.7	88.6	82.1	86.8	87.3	88.4	86.4	80.9	88.1	84.1	84.6	91.1	84.8	90.0	89.1		87.8
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	31.1		31.5		36.1		34.3		32.9		31.4		62.1		55.6		
人手不足		24.3		28.8		19.4		21.4		22.9		20.0		12.1		11.1			
同業者間の競争の激化		41.9		38.4		41.7		40.0		38.6		45.7		32.8		25.9			
大企業との競争の激化		12.2		12.3		13.9		12.9		14.3		14.3		5.2		11.1			
合理化の不足		1.4		-		1.4		1.4		2.9		1.4		-		-			
利幅の縮小		9.5		12.3		11.1		14.3		12.9		11.4		12.1		14.8			
取扱事務の陳腐化		1.4		-		-		-		-		-		-		-			
材料価格の上昇		12.2		9.6		8.3		8.6		12.9		14.3		-		5.6			
料金の値下げ要請		1.4		-		1.4		-		2.9		4.3		3.4		3.7			
人件費の増加		4.1		5.5		8.3		5.7		10.0		5.7		8.6		1.9			
人件費以外の経費の増加		4.1		2.7		1.4		5.7		-		4.3		1.7		-			
技術力の不足		2.7		1.4		4.2		1.4		-		2.9		-		-			
取引先の減少		8.1		8.2		8.3		8.6		10.0		10.0		12.1		9.3			
商圏人口の減少		5.4		6.8		5.6		2.9		1.4		4.3		3.4		1.9			
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-			
駐車場の確保難		1.4		1.4		4.2		4.3		-		-		1.7		1.9			
店舗・設備の狭小・老朽化		9.5		11.0		8.3		7.1		7.1		10.0		3.4		9.3			
代金回収の悪化		-		-		1.4		2.9		-		1.4		3.4		-			
天候の不順		5.4		2.7		4.2		1.4		4.3		4.3		-		3.7			
地場産業の衰退		1.4		1.4		1.4		-		2.9		-		-		-			
大手企業・工場の縮小・撤退	1.4		2.7		4.2		-		1.4		-		1.7		5.6				
その他	-		-		-		-		-		4.3		8.6		1.9				
問題なし	6.8		12.3		11.1		14.3		12.9		8.6		6.9		13.0				
重点経営施策(%)	販路を広げる	39.2		34.2		37.5		30.0		32.9		38.6		37.9		40.7			
	経費を節減する	36.5		35.6		30.6		37.1		32.9		37.1		43.1		38.9			
	宣伝・広告を強化する	25.7		24.7		20.8		24.3		30.0		34.3		31.0		24.1			
	新しい事業を始める	2.7		2.7		2.8		4.3		2.9		4.3		1.7		3.7			
	店舗・設備を改装する	8.1		6.8		11.1		7.1		7.1		10.0		1.7		5.6			
	提携先を見つける	12.2		11.0		12.5		8.6		8.6		4.3		6.9		5.6			
	技術力を強化する	9.5		8.2		12.5		5.7		10.0		17.1		5.2		5.6			
	機械化を推進する	1.4		-		-		-		2.9		2.9		-		1.9			
	人材を確保する	21.6		24.7		20.8		20.0		21.4		15.7		10.3		13.0			
	パート化を図る	1.4		1.4		2.8		1.4		2.9		-		1.7		1.9			
	教育訓練を強化する	5.4		6.8		5.6		5.7		5.7		8.6		3.4		3.7			
	労働条件を改善する	6.8		6.8		5.6		8.6		10.0		4.3		5.2		3.7			
	不動産の有効活用を図る	-		1.4		-		2.9		1.4		-		-		-			
その他	-		1.4		-		-		-		1.4		3.4		-				
特になし	12.2		17.8		18.1		18.6		17.1		12.9		15.5		20.4				
有効回答事業所数	74		73		72		70		70		70		58		54				

建設業

転記表 No.1

2020年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 10～12 月期
		10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期						
業 況	良　い	24.6	23.8	27.4	23.4	25.8	19.4	30.6	17.7	18.0	17.7	15.3	14.8	5.7	13.6	11.5	5.7		7.8
	普　通	63.1	65.1	58.1	64.1	56.5	64.5	54.9	71.0	65.6	66.2	64.4	70.4	49.0	62.7	57.7	52.8		53.0
	悪　い	12.3	11.1	14.5	12.5	17.7	16.1	14.5	11.3	16.4	16.1	20.3	14.8	45.3	23.7	30.8	41.5		39.2
	D・I	12.3	12.7	12.9	10.9	8.1	3.3	16.1	6.4	1.6	1.6	-5.0	0.0	-39.6	-10.1	-19.3	-35.8		-31.4
	修正値	11.5	15.1	8.7	14.2	8.3	4.0	17.6	1.7	1.8	3.3	-6.1	2.0	-34.8	-7.2	-17.4	-34.0	17.4	-28.8
	傾向値	8.6		8.4		8.7		10.7		11.0		7.4		-0.8		-11.2			
売 上 額	増　加	33.8	26.6	27.4	23.1	24.2	12.9	29.0	14.5	21.3	9.7	20.3	13.1	3.8	8.5	13.5	9.4		5.8
	変　ら　ず	55.4	62.5	56.5	63.1	61.3	64.5	56.5	72.6	68.9	70.9	59.4	70.5	47.2	71.2	50.0	43.4		57.7
	減　少	10.8	10.9	16.1	13.8	14.5	22.6	14.5	12.9	9.8	19.4	20.3	16.4	49.0	20.3	36.5	47.2		36.5
	D・I	23.0	15.7	11.3	9.3	9.7	-9.7	14.5	1.6	11.5	-9.7	0.0	-3.3	-45.2	-11.8	-23.0	-37.8		-30.7
	修正値	18.5	20.6	12.9	9.3	9.7	-4.9	15.0	-4.5	7.0	-6.0	3.5	-3.6	-40.4	-4.2	-21.7	-38.0	18.7	-28.0
	傾向値	17.7		16.7		15.5		14.6		13.2		10.3		2.1		-9.5			
受 注 残	増　加	32.3	21.9	25.8	26.2	21.0	12.9	17.7	12.9	16.4	9.7	16.9	9.8	3.8	8.5	7.7	9.4		5.8
	変　ら　ず	55.4	67.2	61.3	58.4	67.7	66.1	67.8	75.8	75.4	70.9	64.5	73.8	49.0	72.9	55.8	43.4		59.6
	減　少	12.3	10.9	12.9	15.4	11.3	21.0	14.5	11.3	8.2	19.4	18.6	16.4	47.2	18.6	36.5	47.2		34.6
	D・I	20.0	11.0	12.9	10.8	9.7	-8.1	3.2	1.6	8.2	-9.7	-1.7	-6.6	-43.4	-10.1	-28.8	-37.8		-28.8
	修正値	16.2	14.1	11.3	11.7	11.3	-6.1	7.1	-1.2	4.3	-6.7	-0.8	-6.2	-38.6	-6.5	-24.7	-36.2	13.9	-26.6
	傾向値	13.8		13.8		13.1		11.8		10.0		6.7		-1.8		-12.4			
施 工 高	増　加	31.3	18.8	22.6	23.4	22.6	12.9	22.6	16.1	19.7	11.3	13.6	9.8	5.7	8.5	15.4	9.4		7.7
	変　ら　ず	57.8	73.4	64.5	65.7	66.1	66.1	66.1	72.6	73.7	69.3	64.4	77.1	47.1	72.9	50.0	47.2		59.6
	減　少	10.9	7.8	12.9	10.9	11.3	21.0	11.3	11.3	6.6	19.4	22.0	13.1	47.2	18.6	34.6	43.4		32.7
	D・I	20.4	11.0	9.7	12.5	11.3	-8.1	11.3	4.8	13.1	-8.1	-8.4	-3.3	-41.5	-10.1	-19.2	-34.0		-25.0
	修正値	16.2	13.6	10.4	12.6	10.6	-4.7	12.3	0.8	8.4	-5.1	-3.4	-3.8	-37.6	-5.1	-17.6	-33.5	20.0	-22.6
	傾向値	13.6		13.8		12.7		12.6		12.3		9.1		0.2		-10.2			
収 益	増　加	32.3	17.2	22.6	18.5	25.8	16.1	17.7	14.5	13.1	11.3	10.2	9.8	3.8	6.8	7.7	7.5		5.8
	変　ら　ず	53.9	71.9	56.4	67.7	59.7	58.1	64.6	71.0	78.7	67.7	67.8	78.7	45.3	71.2	51.9	49.1		53.8
	減　少	13.8	10.9	21.0	13.8	14.5	25.8	17.7	14.5	8.2	21.0	22.0	11.5	50.9	22.0	40.4	43.4		40.4
	D・I	18.5	6.3	1.6	4.7	11.3	-9.7	0.0	0.0	4.9	-9.7	-11.8	-1.7	-47.1	-15.2	-32.7	-35.9		-34.6
	修正値	13.6	6.9	4.2	6.2	8.9	-7.4	0.8	-4.0	-0.1	-8.2	-6.3	-1.8	-43.7	-10.7	-30.0	-34.9	13.7	-32.2
	傾向値	5.9		7.0		8.2		8.4		6.2		2.8		-6.2		-17.6			
価 格 動 向	請負価格	7.7	1.5	-1.6	3.1	0.0	-6.4	4.8	4.8	1.6	1.6	3.4	-1.6	-13.2	1.7	-15.4	-15.1		-17.4
	〃修正値	3.8	1.5	0.2	1.8	2.6	-5.4	4.2	5.4	-2.5	1.5	4.0	-2.6	-9.6	2.6	-13.1	-14.0	-3.5	-15.5
	〃傾向値	-0.2		0.4		0.5		1.7		2.0		1.8		0.8		-3.4			
	材料価格	32.8	17.2	39.3	26.6	34.4	31.2	34.4	26.3	30.0	27.9	27.6	30.0	15.4	31.1	15.7	11.6		15.7
	〃修正値	32.1	20.2	39.3	26.2	32.5	31.7	36.3	25.4	31.6	31.0	27.3	30.7	17.2	30.1	18.3	13.9	1.1	19.2
	〃傾向値	29.2		31.4		33.1		34.2		34.9		33.1		29.2		24.5			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	-1.6	-3.1	-3.3	-3.1	0.0	-3.3	-3.3	0.0	-3.3	-4.9	-6.9	-5.0	-7.7	-3.5	-5.8	-9.6		-7.8
	〃修正値	-1.9	-3.7	-3.0	-2.7	-0.2	-3.1	-3.5	-0.5	-3.7	-5.2	-5.8	-4.6	-7.5	-2.6	-5.3	-9.1	2.2	-7.5
	資金繰り	0.0	-4.6	-6.4	-1.5	1.6	-8.1	-3.2	-4.9	1.6	-6.4	-3.4	-1.6	-17.0	-15.2	-11.6	-20.8		-11.8
	〃修正値	-3.0	-3.5	-6.4	-4.0	1.4	-7.9	-2.6	-4.6	-1.6	-5.6	-2.2	-4.4	-15.0	-12.5	-10.5	-19.0	4.5	-11.6
前 年 同 期 比	売上額	26.2		11.5		8.1		6.4		13.3		3.4		-35.9		-28.8			
	収　益	20.0		1.6		6.5		-1.6		6.7		0.0		-35.9		-30.8			
雇 用	残業時間	10.7	6.4	4.8	4.7	-3.3	-1.6	0.0	-3.3	3.2	-8.2	5.1	1.7	-27.0	1.8	-17.4	-20.7		-17.3
	人　手	-36.9	-33.9	-37.1	-37.5	-29.5	-32.3	-36.6	-30.0	-29.5	-35.0	-39.0	-31.1	-22.6	-36.2	-23.1	-30.2		-21.2
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	40.0	24.2	32.3	31.7	32.8	27.9	31.1	18.0	38.3	22.0	32.8	23.3	46.2	26.3	42.3	33.3		22.4
	借入しない/借入の予定なし(%)	60.0	75.8	67.7	68.3	67.2	72.1	68.9	82.0	61.7	78.0	67.2	76.7	53.8	73.7	57.7	66.7		77.6
	借入難易度	-5.5		0.0		1.9		7.6		11.5		8.0		8.7		-4.6			
有効回答事業所数		65		62		62		62		61		59		53		52			

建設業

転記表 No.2

2020年7月～9月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	2018年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 10～12 月期	
		10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	-3.1	-3.3	-6.6	-5.0	0.0	-6.6	-3.4	0.0	-6.7	-3.4	-3.5	-8.3	-7.8	-3.5	-2.0	-6.0	-3.9
	実施した・予定あり	22.6	25.0	16.9	21.7	23.3	22.0	20.3	20.7	33.3	29.3	21.1	31.7	21.6	23.6	25.5	26.0	16.0
	事業用土地・建物	14.3	20.0	30.0	7.7	21.4	15.4	25.0	25.0	20.0	35.3	25.0	15.8	27.3	23.1	7.7	7.7	25.0
	機械・設備の新・増設	14.3	20.0	20.0	30.8	28.6	38.5	33.3	33.3	20.0	17.6	16.7	15.8	54.5	38.5	53.8	30.8	75.0
	機械・設備の更改	28.6	13.3	-	38.5	21.4	23.1	33.3	25.0	20.0	23.5	8.3	15.8	18.2	7.7	23.1	30.8	25.0
	事務機器	35.7	13.3	40.0	15.4	35.7	15.4	25.0	25.0	35.0	35.3	16.7	31.6	36.4	7.7	23.1	23.1	12.5
	車両	71.4	53.3	70.0	53.8	42.9	61.5	16.7	41.7	60.0	17.6	41.7	57.9	45.5	38.5	53.8	46.2	37.5
	その他	7.1	-	-	7.7	7.1	-	8.3	-	5.0	5.9	8.3	-	-	-	-	7.7	-
	実施しない・予定なし	77.4	75.0	83.1	78.3	76.7	78.0	79.7	79.3	66.7	70.7	78.9	68.3	78.4	76.4	74.5	74.0	84.0
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	23.1		22.6		27.4		25.8		23.0		27.1		49.1		36.5	
人手不足		35.4		37.1		33.9		40.3		44.3		39.0		24.5		28.8		
大手企業との競争の激化		16.9		11.3		14.5		16.1		9.8		6.8		9.4		7.7		
同業者間の競争の激化		27.7		24.2		21.0		24.2		23.0		20.3		28.3		17.3		
親企業による選別の強化		1.5		-		1.6		1.6		6.6		-		1.9		-		
合理化の不足		3.1		1.6		1.6		1.6		6.6		-		3.8		3.8		
利幅の縮小		10.8		19.4		17.7		9.7		16.4		18.6		18.9		17.3		
材料価格の上昇		24.6		16.1		17.7		22.6		11.5		15.3		7.5		9.6		
下請の確保難		20.0		17.7		12.9		19.4		14.8		18.6		13.2		13.5		
駐車場・資材置場の確保難		1.5		3.2		6.5		1.6		6.6		5.1		3.8		3.8		
人件費の増加		15.4		17.7		21.0		19.4		16.4		11.9		13.2		19.2		
人件費以外の経費の増加		3.1		1.6		4.8		1.6		-		3.4		1.9		3.8		
技術力の不足		3.1		4.8		8.1		8.1		3.3		3.4		5.7		5.8		
代金回収の悪化		-		-		-		1.6		1.6		3.4		5.7		1.9		
天候の不順		7.7		9.7		8.1		8.1		14.8		8.5		9.4		13.5		
地場産業の衰退		-		-		-		1.6		-		1.7		1.9		-		
大手企業・工場の縮小・撤退		1.5		-		-		1.6		1.6		-		-		3.8		
その他	3.1		1.6		-		1.6		-		3.4		11.3		7.7			
問題なし	7.7		6.5		6.5		6.5		4.9		6.8		3.8		7.7			
重点経営施策(%)	販路を広げる	32.3		30.6		46.8		35.5		41.0		27.1		37.7		34.6		
	経費を削減する	38.5		38.7		35.5		32.3		36.1		42.4		47.2		40.4		
	情報力を強化する	13.8		24.2		24.2		21.0		19.7		20.3		24.5		21.2		
	新しい工法を導入する	4.6		1.6		4.8		6.5		8.2		5.1		5.7		1.9		
	新しい事業を始める	3.1		1.6		3.2		-		3.3		1.7		1.9		1.9		
	技術力を高める	27.7		22.6		25.8		30.6		18.0		20.3		26.4		30.8		
	人材を確保する	41.5		43.5		33.9		40.3		39.3		35.6		22.6		32.7		
	パート化を図る	-		-		-		-		1.6		-		-		1.9		
	教育訓練を強化する	6.2		9.7		6.5		9.7		6.6		8.5		13.2		9.6		
	労働条件を改善する	6.2		6.5		8.1		3.2		4.9		3.4		5.7		5.8		
	不動産の有効活用を図る	3.1		3.2		3.2		3.2		4.9		5.1		3.8		-		
	その他	-		1.6		-		1.6		-		-		1.9		1.9		
特になし	7.7		6.5		4.8		4.8		3.3		5.1		5.7		7.7			
有効回答事業所数	65		62		62		62		61		59		53		52			

江戸川区 生活振興部 産業振興課 計画係

TEL:03-5662-0525 (直通) FAX:03-5662-0812